

平成28年度
事業報告書



社会福祉法人

埼玉のぞみの園

平成28年度 社会福祉法人 埼玉のぞみの園

事業報告 目次

I. 法人事業報告	1 ページ
II. 春日園	9 ページ
III. 第2春日園	10 ページ
IV. 深谷たんぽぽ	11 ページ
V. 妻沼つくし作業所	12 ページ
VI. 生活支援サービスのぞみ深谷営業所	13 ページ
VII. のぞみの園ホーム	14 ページ
VIII. 深谷市障害者基幹相談うらら	15 ページ

Ⅰ. 法 人 事 業 報 告

1. はじめに

28 年度は法人としては大きな変動があった年との印象を持っている。平成 25 年から親亡き後対策として進めてきた入所支援施設建設のための活動も、11 月 14 日埼玉県審査が通過し、深谷市の土地売買契約を 1 月 6 日に行い、旧松寿園の解体工事を行うというやっと具体的に春陽の里の建設に向かって動き出したという実感がわく。

また、4 月には基幹相談支援センター「うらら」の委託や上柴ホームの建設など組織としての拡充ができたと考えます。また、社会福祉法の改正に伴う組織の改正を行うなど凡そ計画通りに進めることができたと考えています。

一方で、ホームの宿直要件の見直しで夜勤配置にしたことや、春日園での時間外勤務の見直しや、第 2 春日園におけるフォーク事故対応、つくしにおける支援計画未作成に伴う調査委員会設置など労基署や保護者に対し、信用を失墜するような出来事も多々出現した。

また懸念であった新卒職員採用において、28 年度（29 年度採用）十分な人員を採用しきれなかったことは、29 年度の職員配置上大きなマイナスとなっています。

職員の育成人材確保・処遇においては、29 年度からの給与について埼玉県の人事委員勧告に基づきベースアップを図った他、採用 10 年未満のものに最大 5,000 円の昇給をすることができたことは職員の安定性や今後の本法人の地域における優位性に大きく寄与するものと考えています。

また、国家資格取得については介護福祉士を中心に 3 名の者が合格することができました。本法人全体の同資格保有者数も 30 名となりました（正職のみ）。

職員の育成は今後も重点課題として法人内研修の充実や外部講師の招聘など実施していくと共に、職員のメンタルヘルスやパワハラ・セクハラなど働きやすい職場環境の構築も今後の大きな課題の一つと考えています。

2. 運営の基本方針

「人としての夢と希望を持ち、個人の能力を最大限に発揮し、生きがいある人生を掴むように支援します。」を基本とし、

- ① 利用者に対等な関係に基づく支援
- ② 保護から自立へ向けた支援
- ③ 潜在能力を引き出し、発揮させる支援
- ④ 自由と責任の下、実態に応じた支援

以上のテーマに沿ったサービス提供・事業運営・職員育成を目指す。

3. 理事会開催状況

開 催 月 日	議 事	出席者数
平成 28 年 5 月 28 日	第 1 号議案：平成 27 年度社会福祉法人埼玉のぞみの園事業報告（案）について 第 2 号議案：平成 27 年度社会福祉法人埼玉のぞみの園決算報告（案）について（監事監査報告） 第 3 号議案：（福）埼玉のぞみの園印章規程変更（案）について 第 4 号議案：役員及び評議員選考委員会の設立（案）について	9 名 中 9 名 （内： 書面 1 名）

10月29日	第1号議案：平成28年度社会福祉法人埼玉のぞみの園第1次補正予算（案）について 第2号議案：社会福祉法改正への対応（案）について 第3号議案：社会福祉法改正に伴う定款の変更（案）について 第4号議案：新施設建設用地取得（案）について 第5号議案：補助金が得られなかった場合の新施設建設資金計画（案）について 第6号議案：就業規則改正（案）について 第7号議案：運営規定の変更（案）について 第8号議案：深谷たんぱろ特殊入浴設備等配備工事(案)について 第9号議案：評議員選任・解任委員会の選定員選出～評議員候補者推薦～委員会の招集（案）について	9名中9名 （内：書面1名）
12月24日	第1号議案：新施設建設用地取得に伴う深谷市との土地売買契約及び土地購入代金支払（案）について 第2号議案：旧松寿園建物解体工事に伴う設計・監理業務委託契約（案）について 第3号議案：旧松寿園建物解体工事の入札（案）について 第4号議案：評議員選任解任委員会運営細則（案）について 第5号議案：評議員選任解任委員会の開催日程及び新評議員推薦（案）について	9名中9名 （内：書面0名）
平成29年 1月28日	第1号議案：パートタイム職員等就業規則制定（案）について 第2号議案：給与規定の一部改正（案）について 第3号議案：各諸規定（正職員就業規則・育児介護休業の一部改正（案）について）経理規程の一部変更について 第4号議案：社会福祉法人役員賠償責任保険加入(案)について 第5号議案：土地寄付における対応（案）について	9名中9名 （内：書面1名）
2月22日	第1号議案：基本財産の増加に伴う定款変更（案）について 第2号議案：旧松寿園建物解体工事入札結果について 第3号議案：平成28年度社会福祉法人埼玉のぞみの園第2次補正予算（案）について 第4号議案：理事長の選任について	6名中6名
3月18日	第1号議案：平成29年度社会福祉法人埼玉のぞみの園事業計画（案）について 第2号議案：平成29年度社会福祉法人埼玉のぞみの園収入支出予算（案）について 第3号議案：埼玉のぞみの園 定款施行細則（案）について	6名中6名

4. 評議員会開催状況

開 催 月 日	議 事	出席者数
平成28年 5月28日	第1号議案：平成27年度社会福祉法人埼玉のぞみの園事業報告（案）について 第2号議案：平成27年度社会福祉法人埼玉のぞみの園決算報告（案）について（監事監査報告） 第3号議案：（福）埼玉のぞみの園印章規程変更（案）について 第4号議案：役員及び評議員選考委員会の設立（案）について	16名
10月29日	第1号議案：平成28年度社会福祉法人埼玉のぞみの園第1次補正予算（案）について 第2号議案：社会福祉法改正への対応（案）について 第3号議案：社会福祉法改正に伴う定款の変更（案）について 第4号議案：新施設建設用地取得（案）について 第5号議案：補助金が得られなかった場合の新施設建設資金計画（案）について 第6号議案：就業規則改正（案）について 第7号議案：運営規定の変更（案）について 第8号議案：深谷たんばぼ特殊入浴設備等配備工事(案)について	18名
平成29年 1月28日	第1号議案：パートタイム職員等就業規則制定（案）について 第2号議案：給与規定の一部改正（案）について 第3号議案：各諸規定（正職員就業規則・育児介護休業の一部改正（案）について経理規程の一部変更について 第4号議案：社会福祉法人役員賠償責任保険加入(案)について 第5号議案：土地寄付における対応（案）について	19名
2月22日	第1号議案：基本財産の増加に伴う定款変更（案）について 第2号議案：旧松寿園建物解体工事入札結果について 第3号議案：平成28年度社会福祉法人埼玉のぞみの園第2次補正予算（案）について 第4号議案：任期満了に伴う役員の改選について	17名
3月18日	第1号議案：平成29年度社会福祉法人埼玉のぞみの園事業計画（案）について 第2号議案：平成29年度社会福祉法人埼玉のぞみの園収入支出予算（案）について 第3号議案：埼玉のぞみの園 定款施行細則（案）について	18名

5. 評議員選任・解任委員会開催状況

開 催 月 日	議 事	出席者数
平成29年 1月25日	第1号議案 （福）埼玉のぞみの園 評議員の選任について	理事長・外部委員 監事・事務局 各1名

6. 監査

(1) 監事会

平成28年5月28日(土) 10時より、程塚・原口両監事により平成27年度社会福祉法人埼玉のぞみの園の事業報告及び決算報告について監査を受けた。

[指摘事項]

- ・附属明細書の現金・小口現金の「区分」という表記はわかりにくいので「枚数」等の表記に変更すること。
- ・法人本部残高証明書の摘要の普通預金6,500,000円は「定期預金」なので摘要内表記を修正すること。

[対応]

指摘事項どおり対応・訂正した。

(2) 県指導監査

①平成28年度埼玉県社会福祉施設等指導監査

a. 実施日：平成28年6月30日(木)

対象施設：障害福祉サービス事業所 妻沼つくし作業所

[指導事項]

- ・身体拘束を行う場合は決まり通り適切に対応すること。
- ・欠席時対応加算算定に当たっては決まりに留意すること。

[回答書提出]

指導事項の改善内容を平成28年8月29日に県に提出。

指導事項を確認し処理結果(返還額)を平成28年11月24日に県に提出。

b. 実施日：平成28年9月13日(火)

対象施設：障害者支援施設 春日園、法人本部

[指導事項]

- ・法人全体で法令等に抵触しているものがないか総点検を行う、また、法人内部で研修を実施するなど法令順守の周知徹底する取組を行う。
- ・備品庫のスプリンクラーヘッド直下に物品が置かれていたので撤去すること。
- ・レジオネラ属菌検査は、一般浴槽についても実施すること。

[回答書提出]

指導事項の改善内容を平成28年11月28日に県に提出

②障害児(者)生活サポート事業指導監査(深谷市監査)

a. 実施日：平成29年2月23日(木)

対象施設：生活支援サービスのぞみ深谷営業所(障害児・者生活サポート事業)

[指導事項]

指摘事項なし。

7. 法人事業の実施状況

事業名	事業実施日	備考
平成28年度事業報告会	平成28年4月1日	平成28年度法人事業計画等及び給与改定の説明を実施。
職員勉強会	平成28年4月29日	於：第2春日園就労移行室 「社会福祉法改正について」
法人レクリエーション 法人施設職員交歓会	平成28年6月10日	於：深谷市ビッグタートル 於：キング・アンバサダーホテル
中途職員研修	平成28年7月21日～ 10月7日 (全13回)	講師：法人職員 「法人の概要と理念」 「障害者の権利と虐待」他
人事考課上期	平成28年10月1日	新人事考課運用開始他 人事考課上期を実施
コンプライアンス(法令 遵守)研修	平成28年10月17日	於：第2春日園就労移行室 各事業所レポート報告
防犯研修	平成28年10月26日	於：深谷公民館 主催：基幹相談支援センターうらら 参加者39名
新春職員講演会	平成29年1月5日	講師：基幹相談支援センターうらら 「うらら 実績と役割」参加者
設立40周年設立懇親会	平成29年1月28日	於：埼玉グランドホテル 深谷 参加者59名
人事考課下期・総合	平成29年3月1日	人事考課下期及び総合を実施。 管理職も実施。

7. 整備事項 (単位：千円)

事業名	施設名	事業総額	補助金額	備考
特殊浴槽設置及び浴室改修工事	深谷たんぽぽ	9,995	5,000	赤い羽根共同募金
就業規則改定及び育児介護休暇規程改定・パートタイム職員等就業規則創設	法人本部	600	460	平成28年度社会福祉法人経営労務管理改善支援補助金
非常通報装置一式	第2春日園	334	251	平成28年度補正社会福祉施設等整備費県費補助金(防犯対策整備補助金)
防犯カメラ遠隔監視システム	深谷たんぽぽ	1,283	962	平成28年度補正社会福祉施設等整備費県費補助金(防犯対策整備補助金)
合 計		12,212	6,673	

8. 人事

(1) 理事・監事

①就任者（年度内役員改選内容）

役 名	氏 名	就任年月日	資格等	備 考
理事長	山崎 勝	平成29年2月22日	施設長	
理事	備前島 賢光	平成29年2月22日	学識経験者	
理事	飯田 力	平成29年2月22日	地域の福祉関係者	
理事	田島 久雄	平成29年2月22日	学識経験者	
理事	茂呂 敏行	平成29年2月22日	学識経験者	
理事	煤澤 正範	平成29年2月22日	施設長	
監事	程塚 康則	平成29年2月22日	学識経験者	
監事	原口 哲一	平成29年2月22日	地域の福祉関係者	

②退任者

役 名	氏 名	退任年月日	資格等	備 考
理事	久松 貞子	平成29年2月21日	元埼肢連役員	
同	杉田 伶子	平成29年2月21日	同	
同	大澤 晋	平成29年2月21日	地域代表	

(2) 評議員

①就任者（選任された日が年度内の為）

役 名	氏 名	就任年月日	資格等	備 考
評議員	河田 享子	平成29年4月1日	元深谷市職員	
同	曾根知華美	平成29年4月1日	他法人福祉施設長	
同	大澤 晋	平成29年4月1日	地域代表	

②退任者

役 名	氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
評議員	島田 茂	平成28年4月1日	平成29年3月31日	
同	滝上 正三	々	々	
々	金谷 善二	々	々	
々	真下 千代	々	々	
々	新門 峯子	々	々	
々	加藤 義父	々	々	
々	藤村 英一郎	々	々	
々	山崎 勝	々	々	職員
々	杉田 伶子	々	々	理事
々	田島 久雄	々	々	理事
々	煤澤 正範	々	々	職員
々	大島 一哉	々	々	々
々	小口 一弘	々	々	々
々	鯨井 昭二	々	々	々

(3) 職員人事（正職員）

①採用者

配 属 施 設	氏 名	職 種	採用年月日	備考
基幹相談	江原 匡尚	相談員	平成28年4月1日	
基幹相談	齊藤 恵	相談員	平成28年4月1日	
春日園	篠崎 聖	支援員	平成28年7月1日	
たんぽぽ	神沼 尊太	支援員	平成28年7月1日	

②退職者

施 設 名	氏 名	職 種	退職年月日	備考
春日園	増田 正	支援員	平成28年4月30日	依願退職
たんぽぽ	田嶋 崇江	支援員	平成28年4月30日	依願退職
相談支援	木内 美里	相談支援員	平成28年6月30日	結婚による
春日園	持田 智子	支援員	平成28年9月30日	依願退職
相談支援	笹間 慶紀	相談支援員	平成29年3月31日	依願退職
春日園	新 悦郎	調理員	平成29年3月31日	定年退職（雇用継続）
第2春日園	松葉 正枝	支援員	平成29年3月31日	定年退職（雇用継続）

10. 各会議等

各種	開催数	内 容	構 成 員
①施設長連絡会	12	労務管理・改正福祉法関係及び各施設検討事項等	理事長・施設長・事業部長
②庶務連絡会	12	事務施設相互連絡等	本部職員・各施設庶務担当
③グループホーム 設置検討会	2	入居基準作成及び利用者説明等	理事長・松本課長・増田主任・戸井田職員
④入所支援施設建設 検討会	3	設立計画書及び国庫協議書県提出報告。 地域住民説明会及び状況説明。	理事長・茂呂理事・滝上評議員・金谷評議員・煤澤所長・田沼課長・齊藤

⑤法人安全委員会

施設名	主な改善点	改善実施内容
春日園	①第1作業棟床剥がれ有。 ②浴室等のマット劣化。	①H29年度修繕実施。 ②リースにより定期交換実施。
第2春日園	①公用車駐車場から出る時見にくい為カーブミラーの設置が必要。 ②パレット棟ステージ扉下部、止が無く倒れる危険性有。	①カーブミラー設置。 ②扉交換をした。
深谷たんぽぽ	①リフト車のリフト点検を数年していない。 ②天井から雨漏りの痕跡有。	①点検を実施。 ②今後のリノベーション対応。

妻沼つくし	①静養室に呼び出しブザー無。 ②建物裏のエアコン傾き。	①電波式ブザー設置。 ②土台修繕をした。
ホーム	①外壁ヒビ有。 ②共有スペースに洗剤等有。	①H29 年度修繕実施。 ②必要な物だけにし、その他は置き場所を変更した。
のぞみ深谷	①加湿器電源コード、被膜破れ 配線露出。 ②電気コンセントカバー破損有。漏電の 危険。	①直ぐに新コードに変更。 ②直ぐにカバーを付替え。

1 1. 相談支援センターのぞみ

平成 28 年度は、利用契約数が 160 名を超えてはいたが、契約終了者等も若干いた為、新規利用の受け入れをしたところ、前年に比べてお断りの件数も 10 件と減らせることができた。平成 27 年度のお断り数 37 件に対し、平成 28 年度は 10 件（者：8 名・児童：2 名）のお断り結果となった。近隣の市町村がセルフプランから計画に切り替えたことにより、新規利用希望者からの問い合わせや市町村等からの依頼があった。

又、深谷市以外（深谷市は終了）の他市町村で利用者の誕生月に更新時期を合わせる調整等もあり、更新の月がばらけてきており、次年度からは、年度末に集中することが以前より少なくなるであろうと予想される。

II. 春日園の運営

1. 総括

平成 28 年度は「利用者ニーズ」を充実させるための取り組みを行ってきた。利用者ニーズを見ていくと、旅行に行きたい・外出したい・美味しいものを食べたい・仕事をもっとしたい等が多くあげられる。その中で、プロ野球観戦・ネジ班による午後の作業提供など、個々の希望にあわせたサービス提供をできたことは、重度化・高齢化しても個々の利用者をしっかりと見ていくという視点を養えたと言える。また、車椅子利用の利用者が 4 名増え、機能が低下している現れと捉えている。障害・年齢による機能低下は防ぎ切れないこともあるが、全職種が連携し、機能訓練の質の向上、又、更なる重度化・高齢化に備えて介護スキルの向上に取り組んでいく必要がある。

2. 入所支援事業

救急搬送した利用者 3 名、入院した利用者 5 名おり、緊急対応の判断基準の見極めが問われた 1 年であった。結果的に緊急搬送をしたことにより早期に治療ができたことで、末期がんと診断された方を除き重症化することはなかった。ヒヤリハット活動の定着・申し送りでの報告の活発化等「気づき」のセンスが磨かれてきた結果といえる。車椅子を使用する利用者が増えたことは上記の通りであるが、その方達の傾向として、夜間不安定な歩行の中、トイレに 1 人で行き転倒することが多く見られた。その為、夜間のトイレ誘導を行う機会が増えた。

3. 生活介護事業

木曜日を個別支援の日として、利用者ニーズを満たしていくことを目的したサービス提供を行った。主な支援内容は外出支援が多かった。希望を叶えられた利用者の笑顔あふれる表情が見られたことは、職員のやりがいにもつながったのではないだろうか。また「したい」と希望がたくさんある利用者程活動的に生活しており、今後、更に重度化・高齢化が進んできた時に、「したい」という希望をどう持ってもらえるか。これが機能低下を緩やかにすることにつながり、気持ちの支援の重要性を学んだ年度だった。一方、生活が不活発な方もおり、その理由を探り 1 日の生活（全体）を活発化するよう本人の気持ちに寄り添い要因を探り予防・改善策を模索する必要がある。

4. 短期入所

10 月に近隣法人の GH ができたことで、利用者が減った時期があった。GH 入居準備のため利用していた利用者が無事、入居できたことは役割を果たせたという思いと、地域の状況により利用が減るという現実を目の当たりにした。虐待ケースの緊急受入を 4 名行った。その中には、今まで福祉サービスを利用したことのない方がおり、緊急受入後、福祉サービス利用につながったことは、そのきっかけ作りができるという短期入所の新たな役割を見つけられたように感じられた。

5. 日中一時事業

毎週、定期的に利用される利用者があり、現在高校生である。放課後等デイのにぎやかな環境になじめなく利用している。利用相談者にはこのサービスを知らないことが多く、利用の幅を広げるために、どうやって周知していくのが課題である。

Ⅲ. 第2春日園の運営

1. 総括

平成28年度は(株)カナイから新たなネジ袋詰め作業が加わり、法人施設全体を巻き込んで袋詰めの作成を行ったが数量違いなどの不良を多く出してしまい、安定するまで数カ月を要した。はる工房ではミニリフォームや土産物を揃えることで集客を見込んだが総額に変動は見られなかった。先が読めない1年であった。

2. 就労移行支援事業

就労移行では残念ながら3名の方が就職できず期限を迎えてしまった。十分な訓練と介入が出来なかった事は否めないが、繰り返し挑戦できる事が就労移行の良い点でもある。

3. 就労継続B型事業

事業的には64,636千円の売上となり前年度とほぼ同額となったものの、法人傘下施設の内部取引が増えており第2としての利益では減少しており、平均月額工賃も24,756円となり前年を大きく下回ってしまった。

又、利用率では81%程度であり、この数年低調な利用率となっている。精神的に弱い方や高齢等に伴う機能の低下者等が増えている事が主たる理由と考えている。

① 食品加工班

はる工房の検討委員会では新メニューの追加やP-カードの割引を商品サービスに変更してきたが売り上げの総額に変動は見られなかった。製パン科ではアルエットの改装工事や新たなパン工場の登場により商品の変更を余儀なくされた。

② 木工班

昨年とほぼ同水準を維持しているものの、フィンガー科は下期の生産量が機械の故障が相次ぎ生産に大きく響いてしまった。パレットについては若干伸びたものの製品の安定的な受注確保には至らず、今後の成り行きに多少不安がある。

③ 軽作業班

ウエス科は昨年とほぼ同額の売上で材料の確保等安定して行えた。しかし、プレス科はプレス機作業が激減し、建築金物の袋詰めの仕事を中心になってきた。又ネジ科は他事業所と協力し製品の生産を行ってきたが不良を出してしまい混乱した1年であった。

④ 農産班

トマトについては収穫量は平年並みではあったが、ハウスの修繕等に経費が出てしまう事が多くなってきた。農産加工品は10月頃から稼働できるようになったが、まだまだ仕事としての領域には至っていない。

4. 個別の生活支援が必要な利用者の現れ

近年在宅で充分な対応がなされない方が数名あらわれ、特別な支援を行っている利用者が表出し始めた。

5. その他

25周年記念事業(旅行)を行い25周年記念として心に残る事業となった。新たな試み(納会・新年会)など職員の発想力を高める為の事業や会議を持つように努めた。

IV. 深谷たんぽぽ

1. 総括

平成28年度は、「深谷たんぽぽ」として2年目を迎えた年度となり、一昨年度達成した2万円工賃や生活介護事業のプログラム見直しなどをより確かなものとしていった年であった。利用者の増減は全体で3名が退所し2名が入所となったが、1名は3月末日付の退所であり年度内では54名の在籍で変化がなかった。また5名の方が述べ7回入院されたが、4名は通所復帰し精神科入院の1名がまだ継続中である。昨年9月に開所した法人内上柴ホーム等に新たに5名の利用者が入所、新生活を開始し年度末時点では1人の落伍者も出ていない。単純出勤率は生活介護90.7%、就労B型92.2%、全体91.6%にとどまった。職員は年度当初の転出異動が2名、退職が正職1名、臨時職2名あったが、正職1名を7月に、また臨時職計4名をその都度中途採用した。

設備面では、重度障害対応の特殊入浴室を改修設置、29年度から事業実施する運びとなった。また、木工作業室の通路屋根改修及び同室北側の土間コンクリート打設と周辺改修整備を行い近い将来の大規模改修に備えた。更に埼玉県防犯対策整備事業により、敷地内4か所に夜間遠隔監視装置付きの防犯モニターカメラを設置して不審者等の侵入に対応すると同時に、利用者の無断外出等に対する安全配備も行えた。

2. 重度者対応入浴サービス実施に向けた諸準備と生活スキル獲得のための対応

近年懸案となっていた重度利用者への特殊入浴サービスを実施すべく、埼玉県共同募金会助成申請や利用者入浴状況調査等に取り組み2月に特浴室を改修設置、4月から事業実施する準備が整った。また、生活スキルプログラム獲得のためのADL調査を開始し、個人に合わせた生活訓練や機能訓練等を実施した。

3. 授産事業の体制基盤確立とB型工賃2万円台の維持

就労支援（授産）事業の総収入は17,553,582円となり過去最高を記録、就労継続B型の平均月額工賃は20,248円で、2年連続2万円を超える成果となった。これは第2春日園等との作業連携や地道な販売活動によるところが大きい。

4. 老朽化する建物・設備に対応するための財源確保（300万円）

新イベントとして「2万円達成会」「新春お楽しみ会」「誕生日メニュー」を追加して利用者の教養娯楽を厚くしたが、重度者の他事業所ショートステイ利用や長期入院者が出たこと等により単純出勤率は昨年を下回る結果となった。新施設建設のための資金移動額が大きく、建物改修を目的とした積立は100万円にとどめた。

V. 妻沼つくし作業所

1. 総括

法人理念の『保護から自立』を全職員が理解する事から取り組み、徐々にではあるが『与えられるサービスから自ら出来る楽しさ』がつくし全体に芽生えつつある。また生活介護、就労Bをきちんと分けてサービスを提供し、職員の役割分担も明確にする事によって責任の所在を明らかにした。また5 s活動を取り入れ業務全般の整理や誰もが分かる表示など環境づくりに努めた。工賃説明や自販機設置などお金の意識も利用者が持てるようになった。今後の課題は就労Bの事業拡大や生活介護の手厚い支援、全体を通じては成年後見の取り組みが必要である。

2. 就労継続支援B型事業

15名の定員に対し5科目以上の班が点在していた事から職種を絞り計画的且つ中身の充実を図る取り組みを行った。

- ① 軽作業科：生産高が分かる工夫と利用者中心の作業を実現した。今後の課題は不良の発生率を如何に0%に近づけられるかが課題である。
- ② 農耕科：1年通じての野菜作りを行っていたが計画性に欠けていたことや人手不足の結果、予定の収穫高を大きく下回った。今後はジャガイモ、ニンジンと根菜類に的を絞り確実な収穫を図る。
- ③ 食品科：県の技術指導助成金を活用し上尾アブセックの指導の基、乾燥野菜の班立ち上げまで実現した。今後は品質の向上と販路拡大が課題である。
- ④ 派遣関係：JA営農センターに3名の利用者が派遣。うち2名は生活介護の利用者だったが工賃向上に成功し結果、就労Bへ移行した。

3. 生活介護事業

ブロックのバリ取りなどの内職仕事を一切辞め、生活介護単独の農耕作業や事業所内の環境整備、昼食の味噌汁・カレー作りなどを行う。取り組みの結果、一部の利用者であるが御家庭でも家事を手伝うようになる。また2名の利用者が就労Bへ移行したが今後もチャンスがあれば就労Bへチャレンジさせたい。また、社会参加の一つとして外出の機会を増やすだけでなく音楽ボラやそば打ちボラなど外部ボランティアを積極的に受け入れた。今後も外出の機会を増やすのでおしゃれの支援を行う予定である。

VI. 生活支援サービスのぞみ深谷営業所

1. 総括

平成28年度当初の異動・退職等により、常勤換算で3名減の状況からスタートした。人件費が大幅に削減（約1000万円）されたが、事業活動収入は200万円減だったため、資金収支はプラスに転ずることができた。時間単価の高いサービス提供を重点的に行い、効率的な運営ができた。反面、地域活動支援（生活サポート、移動支援）の減少は今後の課題である。また、将来のリノベーションに向けた積立金を作ることができた。

サービス毎の給与体系の見直しは平成28年5月分より実施し、実績に見合った給与支給に近づくことができた。

2. 児童発達支援・放課後等デイサービス

平成29年4月1日現在の放デイ事業所数は、大里地区26（深谷市13、熊谷市11、寄居町2）となっており、ここ数年の間に激増した。その結果、はばたき特別支援学校以外からの利用者数が減少し、また平均利用者数も減少した。地域に使えるサービスが充実したということは喜ばしいことだが、今後如何に利用者確保するか課題である。

国リハ主催の太田ステージ研修会に参加し、職員間の共通言語として取り入れる準備を進めた。環境として、テーブル・椅子の購入により、落ち着いて活動へ取り組むことができるようになった。

3. 居宅介護等

平成27年度後半から始めた行動援護は今年度1年かけて定着し、安定した予約を受けるようになった。また、サービス提供の資格要件を満たすため、行動援護従事者研修5名、同行援護従事者研修1名参加した。

以前から課題であった予約業務について、常駐スタッフを配置し、予約返答に迅速に対応できるよう改善した。今では月内に翌月のシフトを組み終え、予約の返答ができるようになり、ヘルパーの空き時間の確認も短時間でできるようになった。

4. その他

防犯対策の一環として防犯カメラの設置を行った。

道路から駐車場への進入路のアスファルト工事を行い、轍の解消をした。

VII. のぞみの園ホーム

1. 総括

平成 28 年度は、夜間支援を宿直から夜勤への変更。新ホームの開設及びとびたホームの定員変更。それに伴うスタッフの採用など慌ただしく過ぎた 1 年だった。

2. 共同生活援助

4 月に正職員が 1 名増えたことにより、人員配置区分がⅢからⅡに変更することが出来た。新ホームが 9 月に開設され、現在ホーム 5 か所、定員 38 名になった。利用者の日中活動の場所は、第 2 春日園 26 名、深谷たんぽぽ 7 名、妻沼つくし作業所 2 名、春日園生活介護 1 名、川本園 1 名、一般就労 1 名である。

3. 入居者の状況

年度当初は 29 名だったが、2 号館で 5 月に体験利用後に 1 名入居し利用者が 30 名になった。1 号館では、11 月に 1 名の方が病気で深谷日赤に入院し、約 1 か月間治療及びリハビリの後ホーム生活に戻った。とびたホームで長期実習をしていた利用者は、9 月の定員増にともない入居することになった。9 月に開設した上柴ホームは、家から離れて生活することが初めての方が多く、利用者・スタッフ共に手探りのなか少しずつまとまってきた。

4. 世話人・支援員の配置

ホームの夜間支援を宿直から夜勤に変更したことに伴い、夜間支援員を 10 名採用、上柴ホーム開設のため世話人・支援員を 5 名採用した。

5. ホーム会議・研修について

会議を各ホームで行い、意見交換等を行い情報の共有を図った。また、援助する基本部分について勉強会を少しずつ取り入れて行った。7 月 29 日に 1 号館にて深谷消防本部に依頼し、普通救命講習を世話人・支援員等で受講した。

6. 修繕等

とびたホームの外壁塗装。風呂場立格子取り付け。上柴ホームに AED の設置。KASUGA ホーム・とびたホームの自動火災報知機が、消防法改正に伴い適合しなくなったため、設備の交換をした。

VIII. 深谷市障害者基幹相談支援センターうらら

1 相談実績

相談に繋がった経緯は、本人・家族からの問い合わせが最も多く、年間の件数でも最多となった。どこに相談して良いのかわからないから広報等を見て基幹センターに結びついたケースがほとんどである。ニーズ整理をしてから専門機関へ支援を依頼するケースが増えており、早い段階で委託相談や計画相談につなげるようにしている。

個別相談は、自宅や事業所等に出向いて話を聞くことが多く、そうすることによって状況がつかみやすくなり適切なニーズ整理に繋がっている。基幹センターの役割の周知が進むに連れて関係機関からの相談も多岐に渡り件数も増加している。会議等による支援の他に事業所からのケース相談の件数が増加している。この場合困難事例のことが多く、関係機関の調整や役割分担の明確化等が基幹センターに求められている。その為個別のケースに入り込むというよりも、ケースに対して客観的な視点を常に持ち支援の進捗状況や時にはブレーキを掛けるような役割を担っており、今後もそういった関わり方が増えていくと思われる。

(1) 障害種別相談者数（実人数）

	実人数	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
障害児	24	4	0	16	2	5	0	0	1
障害者	87	17	0	39	28	9	4	3	4
計	111	21	0	55	30	14	4	3	5

(2) 支援方法別相談延べ件数

訪問	来所	電話メール	同行	個別支援会議	関係機関	その他	合計
171	70	123	91	113	852	0	1420

(3)(2)の支援方法別相談延べ件数の関係機関の内訳

機関名	年間件数
深谷市（障害福祉課・生活福祉課・子ども青少年課等）	185
計画相談	177
委託相談事業所	62
就労継続・移行支援事業所	62
就労支援センター、就業・生活支援センター	53
介護保険関係	42
教育機関	41
医療機関	38
居宅介護事業所	32
療育等支援事業	20
児童相談所	16
グループホーム	15
児童養護施設	13
放課後等デイサービス	12

社協・あんしんサポート	10
入所施設 一般企業	各 9
若者サポートステーション 民生委員	各 4
生活困窮者自立支援事業	3
その他（行政機関等）	45
合計	852

（４） 相談の内容

相談内容	年間延べ件数	割合
福祉サービスの利用等に関する支援	788	14.5%
障害や症状の理解に関する支援	673	12.4%
健康・医療に関する支援	466	8.6%
不安の解消・情緒の安定に関する支援	484	8.9%
保育・教育に関する支援	263	4.8%
家族関係・人間関係に関する支援	662	12.2%
家計・経済に関する支援	450	8.3%
生活技術に関する支援	369	6.8%
就労に関する支援	489	9.0%
社会参加・余暇活動に関する支援	220	4.1%
権利擁護に関する支援	198	3.6%
専門機関の紹介	210	3.9%
その他	158	2.9%
合計	5,430	100%

（５）新規ケースの相談経路（実人数）

相談経路	年間（人）
本人・家族	31
障害福祉課	22
相談支援事業所（委託・計画）	20
虐待に関する通報	9
障害福祉サービス事業所	5
就労支援センター	7
介護保険	6
教育機関	4
療育等支援事業	2
民生委員・児童委員	2
医療機関	1
その他	2
合計	111

（６）主相談機関なし、専門機関に連絡したケースの紹介先

機関名	年間（人）
指定特定相談事業所	14
委託相談支援事業所	11
就労支援センター	6
障害福祉課等	5
事業所	5
療育等支援事業	3
医療機関	2
生活困窮	1
継続（未定）	13
終結	12
合計	72

2 関係機関等との連携について

(1) 支援者支援

委託連絡会は概ね月 1 回程度実施し地域課題や基幹センターと委託事業所が関わっているケースの情報共有や支援の方向性を協議する場となっている。事例検討（グループスーパービジョン、以下 GSV とする）の回数が少なかった。介護保険との連携について、共同で勉強会を開催したことで基幹センターや障害福祉に関する認識が高まった。

内容	件数	備考
個別支援会議	113 回	延べ 380 機関
委託連絡会	17 回	ベーぐる・向陽参加
事例検討（GSV）	6 回	相談連絡会での GSV は除く
指定特定相談事業所	13 回	打合せ等
新規開設予定事業所	7 回	開設相談等（GH、就労 B 等）
事業所からの相談	3 回	ケース相談、虐待防止に関する相談等
親の会	5 回	進路相談等
障害者団体	4 団体 6 回	各種相談等
介護保険との連携	4 回	勉強会準備

(2) 基幹相談支援センターの周知について

①事業所訪問について

市内の事業所への訪問は概ね完了した。虐待防止センターとしての役割についての周知を兼ねていた為、その後の相談や通報につながった。

事業所の内訳	53 事業所	
グループホーム	13	※市外の事業所含む
就労継続支援 A・B 型	18	※複数の事業を実施しているところはそれぞれカウント
就労移行	3	
施設入所支援	4	
生活介護	9	
放課後等デイサービス	10	※児童発達支援事業所含む
指定特定相談事業所	6	
居宅介護	4	
地域活動支援センター	2	
地域包括支援センター	1	

②学校訪問について

市立小・中学校等、30 校中 25 校 26 回の訪問につながり、基幹センターの事業説明や障害福祉との連携等の意見交換を実施した。学校によっては校長先生だけではなく、支援級の担当教諭も同席をする場合もあり、計画相談や放課後等デイサービス等に関する情報提供に時間を掛けるような学校もあった。

③民生委員・児童委員への周知

5 月に市内 10 地区の定例会の冒頭部分に参加し、基幹センター及び虐待防止センターの事業について説明を行う。その後、民生・児童委員が入れ替わった後の施策説明会（3 回）に参加し、同様に基幹センター及び虐待防止センターへの周知を図る。

民生委員からの相談数は多くなかったが、その時に同席していた地域包括支援センターからの相談に繋がり、その後の介護保険との連携の第一歩となった。

(3) 大里地域自立支援協議会との連携について

深谷市内における自立支援協議会に関する活動については、相談部会（相談連絡会）及び生活部会（子どもプロジェクト、暮らしプロジェクト）に事務局として参加をしてきた。広域での自立支援協議会ではあるが、深谷市での活動ということに重きを置きながら支援をしている。就労部会については主に就労アセスメント等の相談と密接に関わってくる課題についての情報共有のために、オブザーバー的に参加している。

①深谷市相談事業所連絡会について

地域課題抽出を目的にサービス担当者会議の要点シートを用い、相談支援専門員より任意で提出を依頼。相談支援における困り事や相談支援専門員の想いの共有を実施。

2ヶ月に1度市内の事業所の空き状況について情報提供を行う。必要に応じて、市外のGHや入所施設の短期入所の情報や、居宅介護支援事業所における男性ヘルパーの人数等の調査も行い、相談連絡会にて共有を図っている。

月	内容
4月	・27年度の振り返りと28年度の内容について
5月	・年間計画案の検討・GS事例提供：八分目 進行：ペーぐる
6月	・計画相談の手引の内容検討
7月	・担当者会議の考え方、モニタリング方法やポイントについての情報共有 ・GSV事例提供：あゆみ 進行：のぞみ
8月	・サービス等利用計画作成について、チェックシートによる点検
9月	・サービス等利用計画作成のポイント共有 ・GSV事例提供：向陽 進行：ふくろう
10月	・勉強会 障害の見立ての幅を広げる 講師：熊谷保健所
11月	・サービス担当者会議の要点 まとめ ・GSV事例提供：イースト 進行：社協
12月	・介護保険との連携 ケアマネとの意見交換
1月	・研修報告「現任研修」「全国相談支援ネットワーク研修」の参加者より
2月	・地域課題の共有 相談支援専門員の困り事をもとに整理 ・GSV事例提供：のぞみ 進行：向陽・基幹
3月	・介護保険へのスムーズな移行に向けての意見交換

②生活部会深谷市子どもプロジェクトについて

27年度の広域実施から市単独となり、メンバーの再編から始まった。地区把握を通して①家族と当事者支援②支援者支援③つながる支援体制の構築④専門機関の確保（医療、療育等）⑤福祉サービスの確保と充実という5つの課題が上がった。その中で優先順位を整理し、①②③の課題の中から、未就学児や親の会へのアプローチと近年急激に増加している放課後等デイサービス間の連携をテーマに活動を開始。

実施月	内容
6月	○障害福祉課と共同でプロジェクトメンバーの選定

9 月	○自己紹介 ○大里地域自立支援協議会について ○生活部会 子どもプロジェクトについて○地区把握、地域状況の把握、地域課題の抽出
10 月	○地域課題の抽出
11 月	○今までに挙げた課題の整理 ○子どもプロジェクトでできること ○今後の方向性について
12 月	○子どもプロジェクトの3つの柱について ○親の会の整理とアンケート内容について ○放デイ連絡会の内容について○未就学児へのアプローチについて
1 月	○今後の取り組み方について ○放デイ連絡会事前準備訪問について
2 月	○放デイ連絡会事前準備訪問 8 事業所訪問 連絡会についての意見交換
3 月	○放デイ連絡会年間計画について

③生活部会深谷暮らしプロジェクトについて

グループホームの繋がりを深めることを切り口として準備を開始する。評価として、グループホーム間の連携や利用者の生活の質・支援の質の向上のための連絡会という位置づけで発足する事となる。

④就労部会について

必要に応じて相談連絡会との連携についてアドバイスや両部会との連携につながるような働きかけを実施している。

3 研修について

(1) 参加研修について

センター職員の資質向上や専門性を高めることを目的に計 41 回の研修に参加。特に相談支援関係研修に積極的に参加を行い、相談支援の基本姿勢を学ぶことで実務に活かしている。また全国的な研修に参加したことを相談連絡会を通して地域にフィードバックをすることで、地域の相談支援の質の向上の一助としている。又、精神疾患や児童期の支援に関する研修等に参加し自立支援協議会の部会で提案を行い、虐待防止研修は地域で実施する研修のための参考としている。

(2) 基幹主催研修について

9 回の基幹センター主催の研修と 8 回の研修会の講師を実施。虐待防止研修や心の病に関する研修（105 名参加）等や相模原の殺傷事件を受けての防犯対策研修（埼玉新聞にて記事が掲載）や災害対策等の研修等タイムリーな内容を織り込んだ。支援者支援を念頭に地域にとって必要な研修企画をしていきたい。

(3) 各種会議への参加について

顔の見える連携の構築のために、各種会議へ参加した。相談支援体制整備事業における北部ブロック会議は、地域の相談支援体制を再確認するとともに深谷市の取組を PR する場となり、他地域の取組を参考にすることによってより良い相談支援体制の整備につなげていく。

平成28年度 社会福祉法人 埼玉のぞみの園

事業報告 資料編 目次

○共 通	1 ページ
○春日園	4 ページ
○第2 春日園	15 ページ
○深谷たんぽぽ	24 ページ
○妻沼つくし作業所	31 ページ
○生活支援サービスのぞみ深谷営業所	38 ページ
○のぞみの園ホーム	42 ページ
○相談支援センターのぞみ	46 ページ

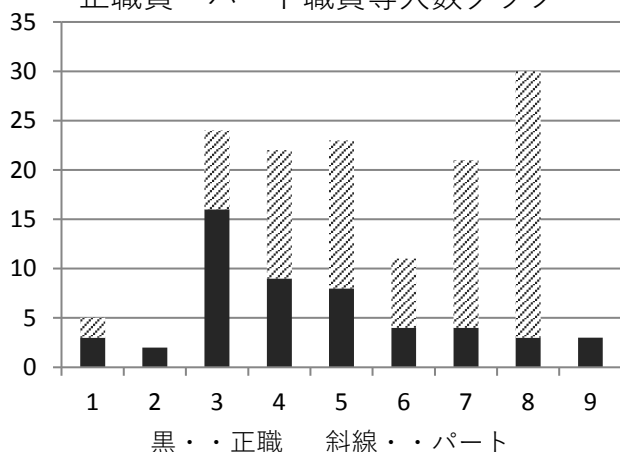
平成28年度事業報告（資料編）
法人職員及び利用者 共通

1. 法人職員数※3月末所属者のみ

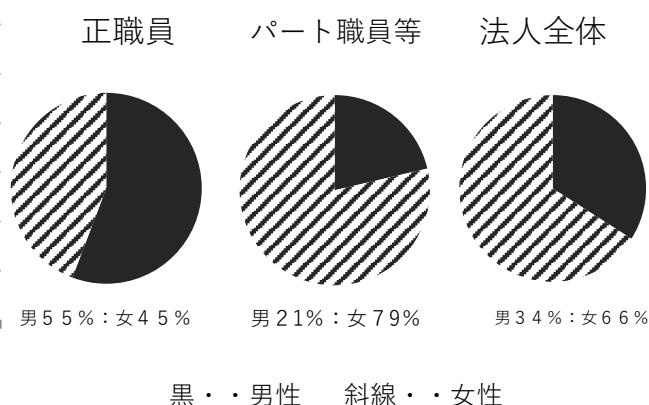
単位：名

施設名	正職員			パート職員等			合計		総合計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	
1 本部	1	2	3	0	2	2	1	4	5
2 相談のぞみ	1	1	2	0	0	0	1	1	2
3 春日園	9	7	16	1	7	8	10	14	24
4 第2春日園	4	5	9	4	9	13	8	14	22
5 深谷たんぽぽ	5	3	8	2	13	15	7	16	23
6 つくし作業所	3	1	4	1	6	7	4	7	11
7 のぞみ深谷	3	1	4	4	13	17	7	14	21
8 ホーム	1	2	3	7	20	27	8	22	30
9 基幹相談うらら	2	1	3	0	0	0	2	1	3
合計	29	23	52	19	70	89	48	93	141

正職員・パート職員等人数グラフ



男女比率グラフ



2. 社会保険等加入（3月末）

単位：名

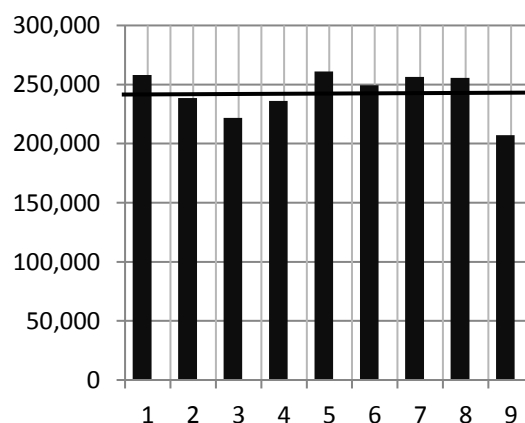
種類	正職員		パート職員		合計		総合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
社会保険	29	23	1	14	30	37	67
雇用保険	29	23	1	40	30	63	93

3. 正職員 本俸・支給総額

単位：円

施設名	平均本俸	平均総支給額
1 本部	258,033	337,846
2 相談のぞみ	238,550	280,190
3 春日園	221,744	261,023
4 第2春日園	236,156	295,323
5 深谷たんぽぽ	261,025	315,383
6 つくし作業所	249,475	326,582
7 のぞみ深谷	256,375	314,466
8 ホーム	255,600	311,888
9 基幹相談うらら	207,033	272,064
法人全体	242,666	307,532

本俸グラフ



※3月末所属者のみ

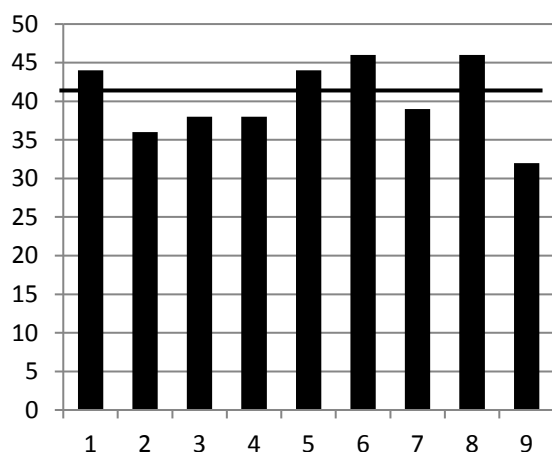
平成28年度事業報告（資料編）

法人職員及び利用者 共通

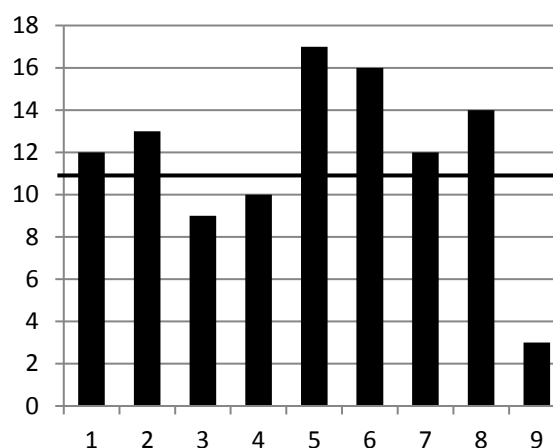
4. 平均年齢及び勤続年数

施設名	平均年齢		平均勤続年数	
	正職員	パート職員等	正職員	パート職員等
1 本部	44歳8ヵ月	46歳6ヵ月	12年6ヵ月	5年10ヵ月
2 相談のぞみ	35歳0ヵ月	—	11年5ヵ月	—
3 春日園	38歳6ヵ月	46歳6ヵ月	9年2ヵ月	4年7ヵ月
4 第2春日園	38歳4ヵ月	56歳4ヵ月	10年3ヵ月	7年0ヵ月
5 深谷たんぽぽ	44歳6ヵ月	55歳4ヵ月	17年4ヵ月	2年2ヵ月
6 つくし作業所	46歳3ヵ月	48歳4ヵ月	16年1ヵ月	1年2ヵ月
7 のぞみ深谷	39歳9ヵ月	48歳4ヵ月	12年4ヵ月	7年0ヵ月
8 ホーム	46歳4ヵ月	57歳5ヵ月	14年3ヵ月	3年2ヵ月
9 基幹相談うらら	32歳9ヵ月	—	3年0ヵ月	—
法人全体	40歳7ヵ月	53歳5ヵ月	11年3ヵ月	4年2ヵ月

正職員平均年齢グラフ



正職員勤続年数グラフ



5. 資格取得 ※正規職員52名を対象に、3月末までに国へ登録した人数。

資格名	述べ取得数	法人内保有率	備考
社会福祉士	11名	21%	H28年度取得者2名
介護福祉士	29名	55%	H28年度取得者2名
精神保健福祉	3名	5%	H28年度取得者無

6. 定職率

単位：名

正職員	前年度末	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	定職率
	月初在籍者数	53	53	53	53	52	54	54	53	53	53	53	53		94%
	採用者	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
	退職者	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	5	
	月末在籍者数	53	53	53	52	54	54	53	53	53	53	53	52		

単位：名

パート職員等	前年度末	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	定職率
	月初在籍者数	79	79	80	78	77	79	80	85	84	86	84	85	87	78%
	採用者	0	3	1	1	3	4	5	0	3	1	2	3	2	
	退職者	0	2	3	2	1	3	0	1	1	3	1	1	0	
	月末在籍者数	79	80	78	77	79	80	85	84	86	84	85	87	89	

平成28年度事業報告（資料編）

法人職員及び利用者 共通

1. 利用者利用率前年度比

事業所名	春日園		第2春日園		深谷たんぽぽ		妻沼つくし		ホーム	のぞみ深谷 別紙資料
サービス	生	入	B	移	生	B	生	B	生活援助	
H27年度	96	103	83	63	97	85	92	63	93	
H28年度	104	97	81	93	93	86	76	72	92	
前年度比	108%	94%	98%	148%	96%	101%	83%	114%	99%	

2. 平均工賃

①就労継続B型

施設名	作業日数	利用者数	収 入	必要経費	工賃支払額	平均工賃
第2春日園	254	533	64,636,284	44,333,526	13,195,165	24,756
深谷たんぽぽ	253	299	17,553,582	4,159,450	6,054,309	20,248
妻沼つくし	251	166	3,136,197	845,692	2,604,533	15,689

②生活介護

施設名	平均工賃
春日園	7,570
深谷たんぽぽ	6,111
妻沼つくし	3,701

3. 平均年齢

①就労継続B

事業所名	サービス内容	男性	女性	全体
第2春日園	就労継続B	52歳	41歳	49歳
深谷たんぽぽ	就労継続B	41歳	41歳	41歳
妻沼つくし作業所	就労継続B	39歳	37歳	38歳

②生活介護

事業所名	サービス内容	男性	女性	全体
春日園	生活介護	58歳	55歳	57歳
深谷たんぽぽ	生活介護	37歳	37歳	37歳
妻沼つくし作業所	生活介護	34歳	51歳	42歳

③他サービス

事業所名	サービス内容	男性	女性	全体
春日園	入所支援	58歳	57歳	58歳
のぞみの園ホーム	共同生活	53歳	45歳	50歳
第2春日園	就労移行	26歳	19歳	24歳

4. 障害支援区分

単位：名

就 労 B	事業所名	サービス内容	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	未判定	合計
	第2春日園	就労継続B	0	4	6	7	18	0	8	43
	深谷たんぽぽ	就労継続B	0	3	5	8	2	0	8	26
	妻沼つくし作業所	就労継続B	0	2	2	2	2	0	10	18
生 活 介 護	事業所名	サービス内容	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	未判定	合計
	春日園	生活介護	10	13	16	4	0	0	0	43
	深谷たんぽぽ	生活介護	10	10	6	1	1	0	0	28
	妻沼つくし作業所	生活介護	1	5	2	3	0	0	0	11
他 サ ー ビ ス	事業所名	サービス内容	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	未判定	合計
	春日園	入所支援	10	12	14	4	0	0	0	40
	第2春日園	就労移行	0	1	1	1	1	0	2	6
	のぞみの園ホーム	共同生活	1	4	9	17	7	0	0	38
合計			32	54	61	47	31	0	28	253

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 運営管理

1. 外部研修

月日	研修内容	場所	参加者
4月8日	H28社会福祉法改正研修	すこやかプラザ	大島
4月15日	H28メンタルヘルス推進者養成研修	すこやかプラザ	大島
4月25日・2日	管理者キャリアパス研修	すこやかプラザ	橋本ま
5月6日	初任者キャリアパス研修事前説明	すこやかプラザ	平野
5月13日・20日	チームリーダーキャリアパス研修	すこやかプラザ	細井み
5月14日	ヘルシーフードショー	都立産業貿易センター	田中
5月27日	集団指導監査	さいたま文学館	大島
6月1日・15日	BCP研修	すこやかプラザ/県産連センター	飯塚
6月1日・9日・21日	サビ管研修	さいたま市民会館/朝霞市民会館	細井み
6月2日	人財育成研修	すこやかプラザ	橋本ま
6月13日・14日	関東甲信越身障協 H28総会、施設長会議	パレスホテル大宮	大島
6月21日	感染症基礎研修	ウェスタ川越	宮野
6月29日	深谷市障害者等福祉実務者連絡会	藤沢公民館	細井み
6月30日	福祉職員のための口腔ケア研修	県産連センター	高原
7月16日	虐待防止、権利擁護研修	かしの木ケアセンター	橋本ま
7月14日・26日	初任者キャリアパス研修	熊谷商工会議所	平野
7月27日	法人監査研修	すこやかプラザ	大島
8月3日	サービス管理責任者ネットワーク	ルピナス鴻巣	橋本ま
8月8日	ナレッジメント研修	ウエスタ川越	細井み
8月18日	事務職員研修	はくちょう園	橋本ま
9月8日	感染症専門研修	埼玉県衛生研究所	宮野
9月9日	ディズニーアカデミーゲストサービススタイル	東京ディズニーシーホテルミラコスタ	田中
9月5日	ナレッジメント研修	さいたま商工会議所	細井み
9月21日	スーパービジョン基礎研修	県産連研修センター	大澤
9月29日・30日	施設職員研修大会	ANAクラウンプラザホテル(新潟)	橋本ま
9月29日	虐待の芽を考えよう 基礎から学ぶ玉対防止セミナー	深谷市男女参画推進センター(Lフォルテ)	神村
10月18・19日	サビ管研修	すこやかプラザ	橋本ま
10月11日	虐待防止研修	すこやかプラザ	宮野
10月13・20日	リスクマネジメント研修	県産連センター	大澤
10月15日	接遇とホスピタリティ研修	さかど療護園	浅見
10月16日	防犯対策研修	深谷公民館	飯塚
10月1日	発達障害、自閉症スペクトラム障害ってどんな障害	飛鳥の郷	大島
11月7日	アンガーマネジメント研修	埼玉県農業共済会館	橋本ま
11月5日	埼玉県身体障害者協議会施設長会議	キララ上柴	大島
11月28日	深谷市障害者等福祉実務者連絡会	藤沢公民館	飯塚
12月6日・1月10日	埼玉県障害者虐待、権利擁護研修	志木市民会館/熊谷地方庁舎	田中
12月7日	サービス管理責任者ネットワーク	春日園	大島、橋本ま、細井、飯塚
12月15日	障害のある方の為の安全な栄養摂取と口腔ケア	県リハ	篠崎
1月11日・25日	福祉人間力向上研修	県産連センター	大澤
1月11日	成年後見セミナー	すこやかプラザ	橋本ま
1月12日・13日	施設長会議支援担当者会議犬種会	本庄グランドホテル	大島、橋本ま、飯塚
1月27日	社会福祉関係者新年賀詞交換会	パレスホテル大宮	大島

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 運営管理

1月6日・16日	新任職員フォローアップ研修	すこやかプラザ/埼玉県産連センター	高原
1月26日・2月2日	新任職員フォローアップ研修	ウエスタ川越	平野
2月6日・7日	中堅職員フォローアップ研修	県産連センター	大澤
2月8日	水害、土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設説明会	さくらめいと	飯塚
2月15日	介護事業経営戦略と施設防衛策セミナー	さいたま市産業文化センター	大島
2月16日	コミュニケーション力向上研修	さいたま市民会館おおみや	篠崎
2月20日	地域で見つけるみんなで守る	うらら	細井り、篠崎、権田
3月4日	誰のがなりえる心の病	うらら	大島、橋本ま
3月10日	アンチエイジングと嚥下食	ホシザキ北関東	土田
3月11日	個別支援計画作成ははじめの一步	第2はぐくみ	細井み、平野
3月14日・15日	全国身障協 第29回経営セミナー	全国身障協	橋本ま
3月22日	身障協 サービス研究会	埼玉県 身障協	細井み
3月23日	障害者サービス事業所管理者及び障害時(者)施設長会議	埼玉県	大島
3月28日	深谷市障害者福祉実務者連絡会	深谷市	細井み

2. 施設内研修

月日	研修内容	講師	参加者
5月13日	労務管理の大切さや労務管理の知識①	正木労務士	大島
6月2日	労務管理の大切さや労務管理の知識①-2	正木労務士	大島
7月21日～10月7日	中途職員研修 計13回	理事長他	篠崎
10月6日	防犯対策研修	深谷警察署 中里 大	飯塚
11月11日	アルソック防犯研修	アルソック	飯塚他7名
10月17日	コンプライアンス研修	参加職員	大島他2名
2月2日	法人理念を考える	高崎福祉医療カレッジ 木村 雅人	橋本他9名

3. 会議実施状況

実施日	内 容	参加者
6月10日	緊急時の対策について	橋本課長・飯塚・田中
年3回	ヒヤリハット報告のまとめ・今後の対応検討	橋本課長・大澤・高原
5月26日	虐待防止について 原因・対策	細井み・平野・宮野
年3回	短期入所ご利用者の対応・改善点について	細井み・平野・宮野
年13回	衛生管理・行事食について	園長・橋本課長・厨房職

4. 研修報告会

実施日	内 容	発表者
5月24日	ヘルシーフードショー (高齢社会における栄養と食事の課題)	田中
7月7日	福祉職員のための口腔ケア研修	高原
7月21日	虐待防止、権利擁護研修(身障協)	橋本ま
7月28日	感染症基礎研修	宮野
9月29日	感染症専門研修	宮野
10月6日	ディズニーアカデミーゲストサービススタイル	田中
10月20日	虐待防止研修	宮野
10月27日	接遇とホスピタリティ研修 (身障協)	浅見
11月10日	リスクマネジメント研修	大澤

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 運営管理

11月21日	BCP研修	飯塚
12月1日	アンガーマネジメント研修	橋本ま
12月22日	障害のある方のための安全な栄養摂取と口腔ケア	篠崎
1月19日	埼玉県障害者虐待防止権利擁護研修	田中
3月23日	コミュニケーション向上研修	篠崎
3月30日	水害、土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設説明会	飯塚

5. 施設見学等の受入状況

月日	見学者	人数	備 考
4月22日	個人様	3	
6月9日	妻沼つくし作業所職場体験中学生	15	
7月27日	個人様	1	
8月19日	個人様	3	
8月30日	深谷たんぽぽ実習生	1	
10月11日	個人様	4	
11月11日	個人様	4	
〃	妻沼つくし作業所職場体験妻沼高校生	4	
12月7日	身障協 サビ管ネットワーク研修参加者	12	
12月14日	個人様	3	
12月19日	個人様	3	
1月18日	個人様	2	
1月25日	個人様	1	
1月31日	個人様	2	
1月31日	個人様	2	
2月17日	個人様	2	
〃	個人様	3	
2月22日	個人様	2	
3月8日	個人様	3	
合計		70	

6. 学生・教員の実習受入状況

期間	学校・所属等	人数	備 考
8月2日 ～ 9月18日	高崎福祉医療カレッジ専門学校	1	
8月17日 ～ 9月20日	東洋大学	2	
9月2日 ～ 9月15日	育英短大	1	
10月3日 ～ 12月26日	高崎福祉医療カレッジ専門学校	1	
9月30日 ～ 10月30日	立正大学	2	
3月4日 ～ 3月17日	国際学院短期大学	2	
3月18日 ～ 3月31日	国際学院短期大学	2	
合計		11	

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 運営管理

7. ヒヤリハット・事故報告状況

①ヒヤリハット

内容	送迎	居室	廊下	食堂	トイレ	浴室	作業棟	屋外	その他	件数
転倒・転落		24	5	10	9	3	2	1	1	55
移乗失敗・衝突					1					1
服薬		4	3	27	1				2	37
配薬ミス				7					3	10
食事（誤嚥等）		1		1				1		3
給食（形状等）				1						1
補装具等不備										0
設備等不備		3				2			1	6
作業							2			2
事務									20	20
個人情報取扱									3	3
その他		6		10	4		2	9	13	44
合計	0	38	8	56	15	5	6	11	43	182

②事故報告

月日	場所	状況	対応
6月16日	アリオ深谷駐車場	曙ブレーキ買い物ボランティア外出日、深谷アリオの帰り送迎の際、立体駐車場にて車体右側をこすってしまう（キズ、ヘコミ）。立体駐車場の上部を気にしすぎ、周囲の注意を怠った。	帰園後園長に確認、第2車両担当も確認。第2送迎使用車両の為、送迎に迷惑にならないよう修理。運転技術を向上させる必要もある。
7月13日	春日園トイレ	夜のトイレ誘導の際、車いすから立ち上がると同時に右側に倒れる（発作によるものと考えられる）。トイレの棚に右後頭部をぶつけ、縦2センチほど切れて出血。数分後止まる。深谷消防署、看護師に連絡し、救急搬送の必要性はないと判断。ガーゼと包帯、アイスノン、一時間ごとの巡回で対応する。夜間変化なし、翌朝のバイタルは異常なし。翌日、看護師と通院し頭部CTを取りに行く。	トイレ内で、勢いよく右側に倒れていた。ドアのどこにぶつけたか見えなかったが、ゴンという音がしたため頭部の確認を行うと縦に切れていた。見守り時における職員の立ち位置、転倒時におけるけが防止の対策の確認をした。

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 運営管理

7月14日	公用車駐車場	外出支援出発時公用車駐車場 出入り口のフェンスにぶつ かってしまい、車体右側面を こする。周囲への注意を怠 る。運転技術の不足と事前に 乗車をしていなかった	同乗していた細井み職員と状況確認、 園長他職員に傷の確認ををしてもら い、7/20坂田自動車へ修理に出す。 車体の幅、長さを考慮し、周囲に注意 を払い運転する必要があった。今後、 運転技術の向上安全運転の施行の為の 研修を予定。
8月13日	ふるさと ファーム 近く	S様を保護しているという電話 連絡があり、外出しているこ とに気づく。ふるさとファーム の近所の方が保護したとの こと。ご本人が名前と施設名 を言うことが出来たため、連 絡を入れていただくことが可 能だった。ご本人の話による と5千円もあったからコンビニ にいこうとして外出したと言 うことだった。ご本人からお 金の管理を自分で行いたいとの 強い希望により7月より工賃 を本人管理にしているため、 今までよりも高額のお金を 持っていた。連休中だったこ とも要因ではないかと考えら れる。	連絡を受けた細井職員が園車両にて迎 えに行く。お礼にジュースを持参する が受け取っていただけず、お礼のみを 言い帰園。ご本人はかなり発汗あり。 また、ご本人いわく9時頃出かけたと のこと。1時間半歩いていたことにな る。日差しがあるが帽子もかぶってい なかった。帰園後バイタルチェック、 大きな体調不良無し。着替え後水分補 給をしていただく。また、保護時にも 見つけてくれた人のお宅にて麦茶をい ただいていた様子。小遣いは千円をご 本人に持っていただき、他は職員が預 かる。今後ご本人を含めコンビニへの 買い物支援について検討する必要があ る。
9月1日	春日園 支援課事 務所	預り金金銭出納帳に記載され ている金額よりも現金が10万 円多かった。8/11の家族会時 ご家族から旅行等の小遣いと 預かったと聞いていた10万円 が金銭出納帳に記載がない。 記載漏れと思われる。現金預 り証も確認するが、預かり証 も見当たらない。	10万円の預入の続きを行い、現金預か り証明書を提出。両方の書類に本人サ インをいただく。現金を預かった職員 は後で記載ではなく、直ぐに記載する こと。また第三者の立ち合い必要。担 当一人で扱う金額ではない。課長ない し主任への報告、立ち合いが必要。
9月1日	春日園 支援課事 務所	月初めの預り金金銭出納帳の 金額が8,000円不足。一か月分 の小遣い相当の金額。記載が なく担当職員不在の為、実際 は不明。	9月分小遣いの為、金銭出納帳に9/1 付で記入。細心の注意を払って支援す る。

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 運営管理

2月13日	風呂場	入浴時、洗体支援終了後浴槽に入るためシャワーチェアに移乗した際、足を滑らせ体が前のめりになり転倒。左まぶたの上を切り出血する。足元のマットや手すりにしっかりとつかまっているかどうかの確認を怠っていた。ご本人に声掛けをしていなかった。	黒屋整形を受診、4針縫合する。身元引受の方への連絡を行う。日常の中で転倒することが多くなっている。転倒の可能性が大ということを頭の中に入れて支援を行う。
-------	-----	--	--

8. 防災訓練等実施状況

実施日	訓練名	想定	備考	消防立会
10月27日	搜索訓練	日中	日中、利用者が行方不明	無
12月17日	総合訓練	日中	日中、作業中に地震発生	有
3月30日	部分訓練（避難）	夜間	夜間、就寝中に火災発生	無

9. 給食

	エネルギー	タンパク質	脂肪	炭水化物	カルシウム	鉄	レチノール当量	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	k c a l	g	g	g	m g	m g	μ g	m g	m g	m g
基準値	1744	71.9	48	250	570	7	520	0.9	1	85
実績値	1746	70.3	48	254	625	9.6	525	0.96	1.15	114

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 処遇

1. 年間行事

開催月日	行事名	場所	備考
4月5日	花見	長瀬方面	
4月7日	花見（夜桜）・食事会	一幸	
4月14日	そば打ち	食堂	
5月5日	端午の節句	食堂	
6月10日	法人レク	ビッグタートル	
6月16日	曙ブレーキ外出	アリオ	
7月12日	七夕	食堂	
8月26日	流しそうめん	中庭	
9月3日	サマーフェスティバル	春日園	
9月16日	敬老会	食堂	
10月3日・4日	春日園信州方面1泊旅行	信州	
10月8日	深谷市ふれあいスポーツ大会	ビッグタートル	
10月28日	春日園日帰り旅行 鎌倉方面	鎌倉	
10月31日	ハロウィン	食堂	
12月9日	イルミネーション点灯式	中庭	
12月20日	クリスマス会・忘年会	マロウドイン熊谷	
2月2日	節分祭	春日園	
3月3日	ひな祭り	春日園	
3月25日	アートフェスティバル	春日園	

2. 支援検討会議実施状況

月日	議題	課題	担当
4月21日	第 218 回	健康に注意し、今後も歩行での生活を続けたい 利用者 N・T	大澤
5月19日	第 219 回	今後、どのような支援を必要とするか 利用者 W・K	飯塚
7月28日	第 220 回	居室のナースコールを頻回に押すことの理解 利用者 K・M	持田
8月18日	第 221 回	お小遣いの使い方の見直し 利用者 K・A、M・T	持田
9月20日	第 222 回	転倒せず安全に日々の生活を送りたい 利用者 H・Y	平野
10月20日	第 223 回	金銭出納帳（金銭）の管理について	細井み
12月15日	第 224 回	衛生管理をどのように行なっていくのが良いのか 利用者 S・M	高原
1月19日	第 225 回	一日の水分摂取量が少ないことについて 利用者 Y・A	浅見
4月21日	事例研究	『ダウン症候群』という障害の特徴と障害特性に合わせた支援の在り方について 利用者	平野
11月15日	事例研究	オムツ・パッドの使用見直しについて	宮野

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 処遇

3. 健康診断・健康相談他

●健康診断・健康相談

内容	医療機関	回数	詳細	備考
健康相談	川本メディカルクリニック	12	春日園入所者・第2春日園利用者の健康相談	第2水曜日
	くろや整形外科	12	春日園入所者・第2春日園利用者の健康相談	第2水曜日
健康診断	川本メディカルクリニック	2	血液・尿・レントゲン・心電図のデータを元に健診を行う	7月 12月
	くろや整形外科	1	春日園入所者・第2春日園利用者の身体状況を確認しながらの健診	3月

●定期検査・測定

内容	回数	詳細	備考
血圧・体重測定	12	毎月1回血圧と体重を測定	
血液検査 尿検査	2	5月10月に利用者・職員を含む血液検査・尿検査を行う	
胸部レントゲン・心電図	1	TMクリニックの検診車にて6月に実施 利用者・職員	
インフルエンザ予防接種	1	11月に実施 利用者・職員	

●入院状況

期間	年齢	性別	病名	医療機関名
平成28年3月18日～平成28年4月6日	43	男	肺炎	小川赤十字病院
平成28年8月11日～平成28年8月29日	48	男	蜂窩織炎	行田総合病院
平成28年8月24日～平成28年8月25日	56	男	腎臓結石	小川赤十字病院
平成28年11月9日～平成28年12月30日	46	女	胸膜炎 マイコプラズマ肺炎	小川赤十字病院
平成29年3月31日～	70	男	腎臓癌	小川赤十字病院

4. ボランティア受入状況

ボランティア内容	期間	学校・所属等	人数
蕎麦打ち	4月14日	熊谷そば打ち愛好会	8
休日日課を楽しむ会 人形劇、手遊び	5月21日	まいまいの会	6
ワークショップ 墨絵	5月31日	M・K様	1
買い物付き添い	6月16日	あけぼのブレーキ	10
休日日課を楽しむ会 音楽	7月9日	歌声ありえる	3
彩の国ボランティア	7月26日～8月19日	小・中学生	8
写真を楽しむ会 百合撮影会	7月28日	川本写真クラブ	3
休日日課を楽しむ会 ハーモニカ演奏	8月6日	彩の国いきがい大学熊谷学園卒業生	10
休日日課を楽しむ会 バンド	9月5日	タイムマシーン	5
ディズニーシー旅行付き添い	11月8日	学生、一般	5
ワークショップ フィンガーペインティング	11月15日	M・K様	1
休日日課を楽しむ会 ミニコンサート	11月26日	ポプリ	5
伊勢崎イルミネーション見学付き添い	12月6日	一般 (現地ボランティア)	6
休日日課を楽しむ会 ミニコンサート	12月23日	プチ楽団 amabile♪	4
書道パフォーマンス	1月14日	本庄第一高校	11
休日日課を楽しむ会 人形劇	2月4日	タックルベア	7
ワークショップ タイル作品作り	3月2日	M・K様	1
華道サークル作品作り	3月24日	S・T様	1
アートフェスティバル 手作り教室	3月25日	ゆうゆうクラブ	3
アートフェスティバル キッズダンス	3月25日	HOTWAVE	40
アートフェスティバル	3月25日	川本写真クラブ、学生等	6
合計			144

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 処遇

5. レクリエーション等活動状況

●サークル活動状況

活動名	活動状況	年間回数	1回平均参加率
スポーツ	風船バレーや卓球等のスポーツを楽しんでいる。	9	17
華道	外部の講師を招いて、生け花を楽しんでいる。	9	6
書道	外部の講師を招いて、書道を楽しんでいる。	11	7
将棋・オセロ	オセロや麻雀等のゲームを楽しんでいる。	12	6
映画	スクリーンを用いて映画鑑賞を行っている。	3	14
カラオケ	joy soundを用いてカラオケを楽しんでいる。	11	7

●クラブ活動状況

活動名	活動状況	年間回数	1回平均参加率
運動	ホールにてフリスビーやボウリング、健康体操等行っている。	12	4.3
カラオケ	楽しく皆で合唱したり、個人で歌ったりしている。	12	7
多目的	塗りえ、折り紙等、日々活動。皆で一つの作品をつくることもある。	21	6.1

●日中レク活動状況

活動名	活動状況	年間回数	1回平均参加率
外出支援	買い物・コンビニ・楽しみの外出に出掛けている。	81	6
食事会	各自食べたいものを選んでもらい出掛けている。	10	5
行事	季節のイベント等おこなっている。	25	20
自主活動	各自が考えた場所の清掃をおこなっている。	45	15
園芸	花の植え替えや寄せ植えをしている。	5	7
運動	行事の練習や、体を動かすレクをおこなっている。	20	15
製作	季節の飾りや、作品展に向けての製作をしている。	62	15

6. 作業状況

●平均工賃(生活介護)

月	作業日数	利用者数	収入	必要経費	工賃支払額	平均工賃
4月	21	42	341,889		262,486	6,249
5月	19	42	277,162		251,522	5,988
6月	21	42	299,997		270,450	6,439
7月	22	42	311,693		278,111	6,621
8月	20	42	350,815		233,832	5,567
9月	21	42	341,884		241,570	5,751
10月	22	42	311,705		269,706	6,421
11月	21	42	362,661		272,184	6,480
12月	20	42	341,389		268,399	6,390
1月	20	42	330,187		267,933	6,379
2月	20	41	323,755		261,246	6,371
3月	21	42	298,926		259,114	6,169
夏期賞与		42			249,634	5,943
冬期賞与		42			306,683	7,301
期末賞与		42			114,982	2,737
合計	248	503	3,892,063	-	3,807,852	7,570

●班別作業収入

科目	収入
ウエス	1,846,800
たきじ	789,400
ネジ	397,059
掃除	240,000
合計	3,273,259

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 処遇

7. 利用者現況表

①年齢・性別(生活介護) 単位：名

年齢	男性	女性	合計
60歳以上	11	8	19
50歳以上	14	1	15
40歳以上	3	2	5
30歳以上	2	2	4
20歳以上	0	0	0
20歳未満	0	0	0
合計	30	13	43

平均年齢(生活介護)

単位：歳

年齢	男性	女性	全体
平均年齢	58	55	57
最年長	79	69	
最年少	31	39	

年齢・性別(施設入所) 単位：名

年齢	男性	女性	合計
60歳以上	11	8	19
50歳以上	13	1	14
40歳以上	3	2	5
30歳以上	1	1	2
20歳以上	0	0	0
20歳未満	0	0	0
合計	28	12	40

平均年齢(施設入所)

単位：歳

年齢	男性	女性	全体
平均年齢	58	57	58
最年長	79	68	
最年少	31	39	

②障害支援区分(生活介護) 単位：名

区分	男性	女性	合計
区分6	8	2	10
区分5	10	3	13
区分4	10	6	16
区分3	2	2	4
区分2	0	0	0
区分1	0	0	0
合計	30	13	43

障害支援区分(施設入所) 単位：名

区分	男性	女性	合計
区分6	8	2	10
区分5	9	3	12
区分4	9	5	14
区分3	2	2	4
区分2	0	0	0
区分1	0	0	0
合計	28	12	40

③身障手帳・療育手帳等の状況(生活介護)

身障手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
1級	16	2	18
2級	9	5	14
3級	4	1	5
4級	1	1	2
5級	0	0	0
6級	0	0	0
合計	30	9	39

療育手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
○A	0	0	0
A	6	0	6
B	0	0	0
C	0	0	0
合計	6	0	6

身障手帳・療育手帳等の状況(施設入所)

身障手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
1級	14	2	16
2級	9	5	14
3級	4	1	5
4級	1	1	2
5級	0	0	0
6級	0	0	0
合計	28	9	37

療育手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
○A	0	0	0
A	6	0	6
B	0	0	0
C	0	0	0
合計	6	0	6

平成28年度事業報告(資料編)
春日園 処遇

④入退所状況

単位：名

サービス	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
施設入所	月初在籍者数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	月途中開始者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月途中終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月末在籍者数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
生活介護	月初在籍者数	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
	月途中開始者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月途中終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月末在籍者数	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43

⑤利用率 ※小数点第2位以下切り捨て

(生活介護/定員40名)

単位：名

月	4	5	6	7	8	9	10
定員	40	40	40	40	40	40	40
在籍人員	43	43	43	43	43	43	43
開所日数 必要開所日数	22 22	23 23	22 22	23 23	23 23	22 22	23 23
利用延人数	925	954	932	964	939	924	971
利用率 (%)	105.1	103.7	105.9	104.8	102.1	105.0	105.5
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	40	40	40	40	40	40	
在籍人員	43	43	43	43	43	516	
開所日数 必要開所日数	22 22	23 23	23 23	20 20	23 23	269	269
利用延人数	914	931	944	848	968	11,214	
利用率 (%)	103.9	101.2	102.6	106.0	105.2	104.2	

(施設入所/定員40名)

単位：名

月	4	5	6	7	8	9	10
定員	40	40	40	40	40	40	40
在籍人員	40	40	40	40	40	40	40
開所日数 必要開所日数	30 30	31 31	30 30	31 31	31 31	30 30	31 31
利用延人数	1173	1199	1190	1222	1181	1179	1224
利用率 (%)	97.8	96.7	99.2	98.5	95.2	98.3	98.7
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	40	40	40	40	40	40	
在籍人員	40	40	40	40	40	480	
開所日数 必要開所日数	30 30	31 31	31 31	28 28	31 31	365	365
利用延人数	1165	1160	1169	1110	1223	14,195	
利用率 (%)	97.1	93.5	94.3	99.1	98.6	97.3	

(短期入所/定員4名)

単位：名

月	4	5	6	7	8	9	10
定員	4	4	4	4	4	4	4
実人数	16	11	12	10	9	8	9
開所日数 必要開所日数	30 30	31 31	30 30	31 31	31 31	30 30	31 31
利用延人数	109	108	104	98	94	83	89
利用率 (%)	90.8	87.1	86.7	79.0	75.8	69.2	71.8
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	4	4	4	4	4	4	
在籍人員	8	9	9	13	15	129	
開所日数 必要開所日数	30 30	31 31	31 31	28 28	31 31	365	365
利用延人数	87	126	113	94	100	1,205	
利用率 (%)	72.5	101.6	91.1	83.9	80.6	82.5	

平成28年事業報告(資料編)
第2春日園 運営管理

1. 外部研修

月日	研修内容	場所	参加者
4月6日	社会福祉法改正研修	彩の国すこやかプラザ	山崎
5月31日	ジョブ・サポーター研修(初級)	浦和合同庁舎	福田
6月8日・14日	中堅職員キャリアパス研修	彩の国すこやかプラザ	内田
6月28日	発達障害に関する研修	すこやかプラザ	藤野
7月19日	摂食嚥下リハビリテーション初級研修	すこやかプラザ	小嶋
7月27日	社会福祉法人監査研修	すこやかプラザ	山崎
9月7日	発達障害者支援等に関わる地域巡回指導	熊谷保健所	鳥羽
9月24日	「成年後見制度」学習会	藤沢公民館	小林
9月29日	深谷障害者基幹相談支援センター	深谷公民館	高橋
10月4日・14日	リスクマネジメント研修	すこやかプラザ	福田
10月6日	防犯対策研修	深谷公民館	坂本
10月7日	中堅職員研修	県民健康センター	福田
10月11日	虐待防止研修	すこやかプラザ	鳥羽
10月12日	レクリエーション研修	すこやかプラザ	小嶋
10月31日	小規模社会福祉法人における社会福祉制度改革	キングアンパサダーホテル	山崎
11月25日	リスクマネジメント研修	損保ジャパン日本興亜さいたま第一ビル	内田
12月5日	販路開拓を目指すためのコンプライアンスセミナー	全国社会福祉協議会	鳥羽
1月16日・17日	サービス管理責任者等研修	与野本町コミュニティセンター	坂本
1月27日	幹部職員研修	すこやかプラザ	山崎
2月3日～4日	製菓部研修会	つくば栄養調理製菓医療専門学校	鳥羽
2月16日	コミュニケーション研修	さいたま市民会館おおみや	八木
2月23日	アンガーマネジメント研修	埼玉建産連研修センター	内田
2月24日	工賃向上研修	新都心ビジネス交流プラザ	小嶋
2月25日	先駆的施設見学	わいわい広場(神奈川県)	園長・坂本・松葉・福田・深田・内田・小林・八木・藤野・鳥羽
3月4日	障害に対する理解促進、啓発研修	藤沢公民館	山崎
3月10日	農福連携推進フォーラム	農林水産省	福田

2. 諸会議実施状況

実施日	内 容	参加者
4月26日	授産会議:K様とT様のトラブル解決策について	山崎園長・坂本・福田・内田・八木・小嶋・松葉
6月15日～7月15日	支援計画検討会議	山崎園長・坂本・福田・内田・小嶋・深田・鳥羽・八木・松葉
8月22日	授産会議:サマーフェスティバル、第2祭り、感謝の会、業務日誌について	山崎園長・坂本・福田・深田・内田・鳥羽・八木・小嶋・小林・松葉
9月28日	授産会議:フォークリフトの使用について	山崎園長・坂本・福田・大澤・内田・八木・小嶋
10月4日	授産会議:さすまた使用法講習会について、忘年会について、K様シャワー浴について	山崎園長・坂本・福田・内田・八木・小嶋・松葉

平成28年事業報告(資料編)
第2春日園 運営管理

10月7日	授産会議：Y・M様入所判定について	坂本・福田・内田・八木・小嶋・松葉
10月8日	授産会議：コンプライアンスについて	坂本・福田・内田・深田・八木・小嶋・松葉
10月13日	はる工房検討委員会：販売内容、はる工房の今後について	藤野・福田・深田・鳥羽・松葉
10月14日	はばたき特別支援学校 S・U様 実習状況について	山崎園長・坂本・福田・内田・八木・小嶋・松葉
10月20日	授産会議：瀧職員のフィンガー作業手伝いについて	坂本・福田・内田・八木・小嶋・松葉
10月20日	はる工房検討委員会：アルエットリノベーションオープンに向けての商品開発について	藤野・福田・深田・鳥羽・松葉
10月28日	はる工房検討委員会：現商品見直し他について	藤野・福田・深田・鳥羽・松葉
11月24日	授産会議：各作業班の連絡会	園長・坂本・福田・内田・鳥羽・八木・小林み・松葉
11月25日	軽作業班会議：ネジ科、リネスコ、プレス科作業人員、作業場について	坂本・八木・松葉
1月7日	授産会議：作業収支一覧表は工賃に反映していないについて	園長・坂本・福田・内田・鳥羽・八木・小嶋
1月14日	授産会議：開園25周年記念事業「第2祭り」について	園長・坂本・福田・内田・鳥羽・八木・小嶋・松葉・深田・藤野
1月16日	はる工房検討委員会：アルエットの改装に伴う商品開発	よろず支援 阿部氏/大坪氏・藤野・福田・鳥羽・山崎園長・松葉
1月30日	はる工房検討委員会：アルエット販売に向けての新商品について	よろず支援 阿部氏・藤野・福田・鳥羽・山崎園長・松葉
2月6日	授産会議：ティアラ21「わくわく広場」パン、農産物、加工品を出品をするかどうかについて	園長・坂本・福田・内田・鳥羽・八木・小嶋・松葉・深田・藤野
2月21日	はる工房検討委員会：パンとクッキーの包装袋について	藤野・福田・深田・鳥羽・松葉
2月25日	授産会議：就労移行から就労継続Bへの移行者の判定会議	園長・坂本・福田・内田・鳥羽・八木・小嶋・松葉・深田・藤野
2月28日	はる工房検討委員会：アルエット販売に向けての新商品について	よろず支援 阿部氏/大坪氏・藤野・福田・鳥羽・松葉
3月17日	はる工房検討委員会：アルエット販売に向けての新商品について	よろず支援 大坪氏・園長・藤野・福田・鳥羽・
3月24日	授産会議：平成29年度支援検討・ケース会議について	園長・坂本・内田・鳥羽・八木・小嶋・松葉・藤野

3.事例研究・研修報告会

実施日	内 容	発表者
11月5日	虐待防止研修 「虐待発生の仕組み・対応・予防について」	鳥羽
12月10日	リスクマネジメント研修	内田
12月10日	記録の書き方研究	福田

平成28年事業報告(資料編)
第2春日園 運営管理

4.見学等受入状況

月日	見学者	人数	備 考
5月13日	H・O様他	2	
5月18日	I・W様他	2	
6月6日	M・Y様他	2	
6月9日	妻沼つくし作業所実習生（妻沼西中学校生徒・引率者）	16	
6月17日	深谷はばたき特別支援学校	32	
6月23日	Y・M様他	2	
8月8日	深谷市立はばたき特別支援学校教諭	10	
8月18日	J・K様他	2	
8月29日	H O P E G A R D E N 富岡	3	
8月30日	K・K様他	2	
10月12日	埼玉県立行田特別支援学校	30	
1月17日	K・N様他	2	
3月8日	A・K様他	3	
3月30日	Y・M様他	2	

5. 学生・教員の実習受入状況

期間	学校・所属等	人数	備 考
7月27日	熊谷特別支援学校 教員	3	
8月9日～19日	高崎福祉カレッジ専門学校 学生	1	
8月22日～26日	東洋大学 学生	1	
8月29日～9月2日	東洋大学 学生	1	
9月12日～14日	育英短期大学	1	
10月3日～8日	立正大学 学生	1	
10月12日～17日	立正大学 学生	1	
12月12日・15日	高崎福祉カレッジ専門学校 学生	1	
3月7日～9日	国際学院埼玉短期大学 学生	1	
3月13日～15日	国際学院埼玉短期大学 学生	1	
3月21日～23日	国際学院埼玉短期大学 学生	1	
3月28日～30日	国際学院埼玉短期大学 学生	1	
合計		14	

6.ヒヤリハット・提案・事故等

①ヒヤリハット

月日	対象	状況等	対処等
4月4日	破損	M・U様 松葉杖の破損	杖の安全確認の徹底
7月12日	破損	高速道路での公用車のパンク	公用車の安全確認徹底
9月18日	転倒	作業等での転倒	補装具等の使用を検討
10月19日	紛失	Y・M様 送迎車で財布を落とす	送迎後の確認
11月25日	外傷	H・S様 釘が額に飛ぶ	保護メガネの着用
11月25日	転倒	Y・I様 カラーコーンに松葉杖が引っかかり転倒	通路の整理整頓徹底
11月22日	その他	職員が機械を修理中に利用者が電源を入れ感電	周囲に修理を周知する

平成28年事業報告(資料編)
第2春日園 運営管理

②事故報告

月日	区分	対象	状況等	対処等
4月6日	事故	破損	公用車で左折時、縁石に接触	安全運転の確認
5月6日	事故	無断外出	作業中に無断外出し行方不明になる	安全確認の励行
6月21日	事故	破損	材料を作業棟に運搬時に建物に接触	職員に見守り徹底
5月24日	事故	その他	送迎中に便失禁	送迎途中のトイレ確認
6月21日	事故	破損	フォークリフトによるフェンス破壊	安全確認の励行
8月4日	事故	事故	フォークリフトによる交通事故	安全運転の周知徹底
8月18日	事故	破損	フィンガー棟集塵機でのカバー吸い込み	吸い込みの確認
11月12日	事故	無断外出	ホームから外出し行方不明になる	職員に見守り徹底
11月14日	事故	外傷	ウエスカッターで左人差し指 裂傷	安全確認の徹底
12月27日	事故	破損	公用車のドアに原因不明の深い傷	点検確認の徹底
1月13日	事故	破損	木工機械のコンセントの漏電	安全確認の徹底
1月23日	事故	破損	公用車で高架橋に屋根を接触	安全運転の確認
3月28日	苦情	健康	褥瘡の写真撮影に対しての苦情	配慮の徹底

7.給食

	エネルギー	タンパク質	脂肪	炭水化物	カルシウム	鉄	レチノール当量	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	k c a l	g	g	g	m g	m g	μ g	m g	m g	m g
基準値	727	30	20	104	218	2.3	211	0.4	0.4	38
実績値	689	27.8	17.8	101.4	207	4	169	0.37	0.38	48

8.防災訓練実施状況

実施日	訓練名	想定	備考	消防立会
6月1日	避難訓練・消火訓練、(通報)	昼間	地震を原因とする火災を想定(第2・はる工房)	無
12月17日	通報、避難、消火訓練	昼間	地震を原因とする火災を想定/春日園と合同訓練	有

平成28年度事業報告(資料編)
第2春日園 処遇

1.年間行事

月日	行事名	場所	備考
4月1日	入所式	移行室	
6月10日	法人レクリエーション大会	深谷ビッグタートル・サブアリーナ	
9月3日	サマーフェスティバル	春日園広場	
9月15～18日	25周年国内旅行	北海道	
9月21日	感謝の会	食堂	
10月8日	園外レク	農林公園	
11月5日	芋煮会	春日園広場	
12月21日	忘年会	埼玉グランドホテル深谷	
1月5日	新年顔合わせ	食堂	
1月18日	成人式	就労移行室	
2月3日	節分会	第2広場	
3月3日	日帰り旅行	東京都内（浅草他）	

2.支援検討会議実施状況

月日	議題	担当
4月23日	第25回 H・K 様 決められた時間に出勤し作業に参加する	深田
5月7日	第26回 Y・A 様 足の痛みを踏まえ安全に作業を行う	内田
6月23日	第27回 Y・H 様 第2春日園で基礎的な社会性を身につけ一般就労を目指したい	福田
7月16日	第28回 M・K 様 ホームに入所し自立した生活を送る	小嶋
8月11日	第29回 H・K 様 生体リズムによる気持ちの浮き沈みを無くし早出の作業に参加し工賃アップを目指す	鳥羽
9月28日	第30回 M・U様 右足の運びが悪くなっているので身体能力を維持していく	坂本
10月15日	第31回 フィンガー班における出勤率を上げロス率を減らし機械を止めず作業を行い生産する	内田
11月5日	第32回 S・T 様 作業の確保と一日の作業の流れを作る	藤野
12月14日	第33回 Y・Y 様 怪我をなるべく少なくし健康的に過ごし作業を続けたい	小嶋
1月14日	第34回 K・S様 女性とうまく付き合っていく為には	松葉
2月17日	第35回 Y・H様 Y・A様 一般就労に向けて	八木
3月24日	第36回 総集編 平成28年4月～平成29年3月までの支援検討会議の支援状況	坂本

3.健康診断・健康相談等

①健康診断・医療相談

内容	医療機関	回数	詳細	備考
健康診断	川本メディカル	1	身体測定・血液検査・レントゲン等検査データの所見による個人診断	7.12月
	くろや整形外科	1	病状の安定度の見解及び筋骨格可動域の所見による個人相談	2月
健康相談	川本メディカル	12	日常生活内の病状報告及び体調不良者の診察、医療相談	毎月
	くろや整形外科	12	日常生活内の病状報告及び体調不良者の診察、医療相談	毎月

平成28年度事業報告(資料編)
第2春日園 処遇

②その他

内容	回数	詳細	備考
身体測定	12	身長・体重・バイタルサイン他の測定。前回との比較による健康管理の診断	毎月
インフルエンザ予防接種	1	流行性菌の蔓延予防と園内の感染予防	11月
胸部レントゲン	1	結核検査及び肺機能に不随する異常所見の診察	6月
採血	1	血液検査による健康状態の把握及び病気の早期発見	5月
検尿	1	尿検査による健康状態の把握及び病気の早期発見	5月
検便	1	糞便検査による罹感染の防止、健康状態の把握及び病気の早期発見	食品班のみ複数あ

③入院状況

期間	日数	病名	医療機関名
平成28年4月3日～11日	9日	腰椎椎間板ヘルニア	熊谷総合病院
平成28年11月15日～12月15日	1ヶ月	多発性脳梗塞	深谷日赤

4. ボランティア受入状況

ボランティア内容	実施月	延人数
華道サークル先生・書道サークル先生	5月7日	2
フリータイム (バンド活動)	6月8日	1
フリータイム (バンド活動)	6月15日	1
華道サークル先生・書道サークル先生	8月11日	2
フリータイム (バンド活動)	9月14日	1
華道サークル先生・書道サークル先生	9月24日	2
フリータイム (バンド活動)	9月28日	1
華道サークル先生・書道サークル先生	10月8日	2
華道サークル先生・書道サークル先生	10月29日	1
保護者年末清掃	12月28日	5
華道サークル先生・書道サークル先生	12月10日	2
華道サークル先生・書道サークル先生	1月14日	2
華道サークル先生・書道サークル先生	1月14日	2
バンド演奏会	3月8日	7

5. レクリエーション等活動状況

●サークル活動状況 (土曜日開所日 13:00～14:30 実施)

サークル名	活動状況	年間回数	1回平均参加人数
映画	映画鑑賞	9	6
カラオケ	カラオケ	9	3
スポーツ	風船バレー、卓球、サッカー、キャッチボール	9	8
将棋、オセロ	将棋、オセロ、パソコン	9	5
華道	華道	9	3
書道	書道	9	4

●フリータイム (毎水曜日 15:00～16:00)

活動名	活動状況	年間回数	1回平均参加人数
映画	DVD映画鑑賞	40	13
スポーツ	ボッチャ、グランドゴルフ、サッカー	40	4
音楽バンド	3月25日に演奏会を行う	40	10
お茶会	コーヒーと菓子で午後のひと時を過ごす。	40	6
絵画・造形	季節に合わせた作品作り	40	6

平成28年度事業報告(資料編)
第2春日園 処遇

6.実習者受入状況

期間	学校・所属等	人数	備考
6月12日 ～ 6月17日	熊谷特別支援学校高等部2年生(男)	1	パレット・フィンガー・軽作業
6月20日 ～ 7月1日	深谷はばたき特別支援学校高等部2年生(男)	1	軽作業・パレット・フィンガー・トマト
9月26日 ～ 10月7日	M・Y様	1	軽作業・パレット・フィンガー
10月11日 ～ 10月24日	深谷はばたき特別支援学校高等部1年生(男)	1	プレス・フィンガー・パレット

7.作業状況

●平均工賃(就労継続B)

月	作業日数	利用者数	収入	必要経費	工賃支払額	平均工賃
4月	22	45	6,451,603	5,012,136	985,915	21,909
5月	19	45	5,178,238	3,670,280	883,021	19,623
6月	21	45	5,622,718	4,910,832	974,614	21,658
7月	22	45	3,824,541	4,465,459	903,607	20,080
8月	20	44	4,898,584	3,771,427	843,013	19,159
9月	21	44	5,162,874	2,705,449	802,363	18,236
10月	23	44	6,559,747	3,106,006	950,757	21,608
11月	21	44	4,946,551	3,970,411	863,516	19,625
12月	21	44	5,351,040	4,367,723	809,460	18,397
1月	22	44	5,269,019	3,229,254	815,719	18,539
2月	20	44	6,156,967	2,547,124	949,290	21,575
3月	22	45	5,214,402	2,577,425	985,438	21,899
夏期賞与		45			1,135,420	25,232
冬期賞与		44			1,069,167	24,299
期末賞与		45			223,865	4,975
合計	254	533	64,636,284	44,333,526	13,195,165	24,756

●班別作業収入

科目	収入	科目	収入
ウエスコ	11,778,263	製めん科	1,020,559
リネスコ	656,152	オープンキッチン	2,811,841
プレス科	7,808,853	農産班トマト科	4,837,754
ネジ科	4,930,664	農産班加工科	154,718
パレット科	14,729,396		
フィンガー科	8,482,990		
製パン科	7,425,094	合計	64,636,284

8.販売実績状況

実施日	販売先	販売場所	売上金額	備考
4月10日	重忠祭	畠山重忠公史跡公園	63,190	
4月16日	たんぼぼ祭り	深谷たんぼぼ	50,140	
4月29日	春日園グループ家族会	第2春日園内	40,550	
6月4日	彩の国セルフ祭り	さいたま市立鐘塚公園	22,200	
6月11日	植松橋グラウンドゴルフ大会	植松グラウンド	58,700	
8月11日	春日園グループ家族会	第2春日園内	29,570	
9月3日	春日園サマーフェスティバル	春日園内	53,600	
10月8日	アルエット祭り	アルエット	4,800	
10月23日	植松橋グラウンドゴルフ大会	植松グラウンド	115,800	
10月29日	深谷市健康福祉まつり	深谷市ビックタートル	25,500	
10月30日	深谷市健康福祉まつり	深谷市ビックタートル	52,760	
11月3日	太鼓まつり	農林公園	54,320	
11月20日	埼玉県レクリエーション大会	ビックタートル	64,200	

平成28年度事業報告(資料編)
第2春日園 処遇

12月17～19日	大宮セルフバザール	大宮駅コンコース	296,570	
12月28日	春日園グループ家族会	第2春日園内	32,940	
3月12日	グラウンドゴルフ販売会	植松グラウンド	122,760	
合 計			1,087,600	

9.送迎状況

送迎地域・コース	所要時間／1日	走行距離／1日	送迎人数	使用車両	備考
Gコース（のぞみの園ホーム）	60分	22 k m	19名	マイクロ 24人乗り	籠原駅経由
Nコース（Gホーム、深谷方面）	120分	45 k m	15名	マイクロ 20人乗り	深谷駅経由
Wコース（東松山方面）	100分	52 k m	6名	ハイエース9人乗り	

※Wコース：迎え：万吉経由森林公園駅迄送り：小原センター・万吉・森林公園駅経由小川方面

10.利用者現況表

①年齢・性別(就労移行)

単位：名

	男性	女性	合計
60歳以上	0	0	0
50歳以上	0	0	0
40歳以上	1	0	1
30歳以上	0	0	0
20歳以上	2	1	3
20歳未満	1	1	2
合計	4	2	6

平均年齢（就労移行）

単位：歳

年齢	男性	女性	全体
平均	26	19	24
最年長	47	20	
最年少	19	19	

②障害支援区分（就労移行）

単位：名

区分	男性	女性	合計
区分6	0	0	0
区分5	1	0	1
区分4	0	1	1
区分3	1	0	1
区分2	1	0	1
区分1	0	0	0
未判定	1	1	2
合計	4	2	6

③身障手帳・療育手帳等の状況（就労移行）

身障手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
1級	0	0	0
2級	0	0	0
3級	0	0	0
4級	0	0	0
5級	0	0	0
6級	0	0	0
合計	0	0	0

療育手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
○A	0	0	0
A	1	0	1
B	2	2	4
C	1	0	1
合計	4	2	6

年齢・性別（就労継続B）

単位：名

年齢	男性	女性	合計
60歳以上	9	3	12
50歳以上	8	5	13
40歳以上	8	3	11
30歳以上	2	1	3
20歳以上	2	4	6
20歳未満	0	0	0
合計	29	16	45

平均年齢（就労継続B）

単位：歳

年齢	男性	女性	全体
平均	52	41	49
最年長	71	73	
最年少	25	22	

障害支援区分(就労継続B)

単位：名

区分	男性	女性	合計
区分6	0	0	0
区分5	2	2	4
区分4	3	3	6
区分3	5	2	7
区分2	13	5	18
区分1	0	0	0
未判定	5	3	8
合計	28	15	43

身障手帳・療育手帳等の状況（就労継続B）

身障手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
1級	7	4	11
2級	13	4	17
3級	0	0	0
4級	1	1	2
5級	1	0	1
6級	1	0	1
合計	23	9	32

療育手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
○A	1	0	1
A	4	6	10
B	1	0	1
C	0	1	1
合計	6	7	13

平成28年度事業報告(資料編)
第2春日園 処遇

④入退所状況

単位：名

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
就労移行	入所	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
就労継続 B	入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	退所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

⑤就労移行利用者の進路

単位：名

氏名(イニシャル)	退所日	理由	採用年月日	その他
K・H	平成29年2月28日	訓練期間満了		就労継続 Bへ
T・A	平成29年3月31日	訓練期間満了		就労継続 Bへ
E・A	平成29年3月31日	訓練期間満了		就労継続 Bへ

⑥利用率

※小数点第2位以下切り捨て ※トライアル雇用期間中は利用人数に含まれていない。

(就労移行支援 定員 6 名)

単位：名

月	4	5	6	7	8	9	10
定員	6	6	6	6	6	6	6
在籍人員	6	6	6	6	6	6	7
開所日数	21	22	21	23	21	22	23
利用延人数	122	110	113	128	117	114	140
利用率(%)	92.4	79.7	85.6	92.8	84.8	86.4	101.4
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	6	6	6	6	6	6	
在籍人員	7	7	7	7	6	77	
開所日数	21	22	21	23	22	23	253
利用延人数	143	141	136	123	127	1,514	
利用率(%)	108.3	102.2	98.6	102.5	92.0	93.8	

(就労継続支援 B 型 定員 4 6 名)

単位：名

月	4	5	6	7	8	9	10
定員	46	46	46	46	46	46	46
在籍人員	45	45	45	45	45	45	44
開所日数	21	22	21	23	21	22	23
利用延人数	901	785	903	862	793	863	895
利用率(%)	89.0	74.2	89.2	81.5	75.0	85.3	84.6
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	46	46	46	46	46	46	
在籍人員	44	44	44	44	45	535	
開所日数	21	22	21	23	22	23	255
利用延人数	801	802	809	778	881	10,073	
利用率(%)	79.2	75.8	76.5	84.6	83.3	81.5	

⑦個別の生活支援状況

利用者名	必要な支援	対 応	期間等
K	入浴	特浴室にてシャワー浴	毎日・通年
K	洗濯	第2の洗濯機使用し作業着洗濯	々
S	洗濯	第2の洗濯機使用し作業着洗濯	々
Y	電動車椅子	電動車椅子教習の実施	2月～4月

平成28年度事業報告(資料編)
深谷たんぽぽ 運営管理

1. 外部研修

月日	研修内容	場所	参加者
5月27日	障害福祉サービス集団指導	市民会館おおみや	田沼
7月19日	嚙下研修	浦和コルソ	持田
7月20日	運転管理者講習	深谷市民文化会館	野口
7月26・27日	実習指導者研修	高崎福祉医療カレッジ	田沼
7月27日	社会福祉法人改革研修	すこやかプラザ	煤澤
9月29日	障害者虐待防止セミナー	深谷公民館	前沢・佐久間
10月12日	レクリエーション研修	すこやかプラザ	持田
10月20日	口腔ケア研修	埼玉健産連研修センター	持田
10月26日	障害者虐待防止セミナー	深谷公民館	我妻・大森
11月7日	アンガーマネージメント研修	県農業共済会館	田沼
1月27日	発障協施設長研修	すこやかプラザ	煤澤・田沼
2月20日	障害者虐待防止セミナー	深谷公民館	川中子・田部井
2月24日	ソーシャルメディア研修	ビジネス交流プラザ	持田
3月4日	うつ病研修	藤沢公民館	長崎・松浦・前沢
3月7日	農福連携セミナー	(福)元気村・夢工房	煤澤
3月11日	個別支援計画セミナー	飛鳥の郷	田沼・他7名
3月23日	県施設長会議	市民会館おおみや	煤澤
3月28日	実務者連絡会	深谷公民館	煤澤・神村

2. 施設内研修

月日	研修内容	講師	参加者
7月21日～10月7日	中途職員研修 計13回	理事長他	神沼
1月4日	うらら報告会	大崎・齊藤	各職員
8月9日	車椅子等扱い方講習	長崎	神沼他

3. 会議実施状況

実施日	内 容	参加者
全開所日において	当日の打ち合わせ・申し送り	在所職員
隔週	職員会議（ケース会議）	6時間以上勤務職員
4月8日	支援計画策定会議	在所職員
8/30・11/28・1/21	入所判定会議	在所職員
原則第4木曜日	サービス検討会議（就労継続B型）	6時間以上勤務の就労B職員
原則第2木曜日	サービス検討会議（生活介護）	6時間以上勤務の生活介護職員

4. 研修報告会

実施日	内 容	発表者
4月18日	権利擁護、成年後見、差別解消法等	煤澤、他5名
10月11日	嚙下講習、運転管理者講習、虐待防止研修等	田沼、他6名

5. 施設見学等の受入状況

月日	見学者	人数	備 考
6月17日	深谷はばたき特支校中等部2年	33	
8月19日	ダウン症の会 ひだまり	8	
9月26日	ケアホームハーモニー	4	
11月30日	立正大学	11	
合計		56	

平成28年度事業報告(資料編)
深谷たんぽぽ 運営管理

6. 学生・教員の実習受入状況

期間	学校・所属等	人数	備 考
6月6～17日、10月14日～1月31日	東京福祉大学	2	ソーシャルワーク実習
7月11～15日	埼玉工業大学	1	介護体験
7月26～28日	深谷中学校	1	ボランティア体験
8月10日～9月21日	東京健康福祉大学	1	ソーシャルワーク実習
8月29日～9月15日	明星大学	1	介護体験
9月26～30日	文教大学	1	介護体験
10月17～21日	文教大学	1	介護体験
10月24～28日	埼玉工業大学	1	介護体験
11月7～11日	文教大学	1	介護体験
11月14～18日	埼玉工業大学	1	介護体験
11月28～30日	深谷南中学校	3	社会体験チャレンジ
12月5～9日	玉川大学	1	介護体験
12月12～16日	大東文化大学	1	介護体験
12月13～15日	深谷中学校	2	社会体験チャレンジ
1月16～20日	文教大学	1	介護体験
1月23～27日	埼玉学園大学	1	介護体験
合計		20	

7. ヒヤリハット・事故報告状況

①ヒヤリハット

内容	送迎	居室	廊下	食堂	トイレ	浴室	作業棟	屋外	その他	件数
転倒・転落										0
移乗失敗・衝突										0
服薬										0
配薬ミス	1			2					2	5
食事(誤嚥等)										0
給食(形状等)				1						1
補装具等不備	1									1
設備等不備							1			1
作業								1		1
事務									1	1
個人情報取扱							1			1
その他	1			1					1	3
合計	3	0	0	4	0	0	2	1	4	14

②事故報告

月日	場所	状況	対応
4月28日	作業室	製品在庫数の把握を間違えていた。	休日作業で補い納品した。
4月30日		リサイクル奨励金の申請を出し忘れた。	奨励金は未収となった。
7月4日	市内路上	送迎車両を標識と接触させた。	車両の修理をした。
7月4日		請求書の単価を誤り、相手方へ提出した。	請求書を訂正した。
7月27日	利用者宅前路上	送迎車両の乗降時に利用者が転倒した。	本人、保護者へ謝罪した。
10月18日	食堂	配膳中、誤って清汁を利用者にかける。	軽度の火傷に対する処置と謝罪。
12月6日	食堂	1週間の服薬支援漏れがあった。	全利用者の服薬一覧を作成した。
1月4日	市内路上	送迎車両の左側を縁石でこすった。	職員へ注意・啓発した。
1月19日	市内路上	送迎車両の左側を縁石にあてた。	業者による修理を行った。

8. 防災訓練等実施状況

実施日	訓練名	想定	備考	消防立会
2月23日	総合訓練	昼間	食堂からの出火	無
3月28日	総合訓練	昼間	地震発生からの出火	有

9. 給食

	エネルギー	タンパク質	脂肪	炭水化物	カルシウム	鉄	レチノール当量	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	k c a l	g	g	g	m g	m g	μ g	m g	m g	m g
基準値	666	30	18.5	97.5	200	4.2	231	0.39	0.45	40
実績値	674	26.8	17	99.9	195	4.1	236	0.31	0.36	34

平成28年度事業報告(資料編)
深谷たんぽぽ 処遇

1. 年間行事

開催月日	行事名	場所	備考
4月16日	第17回つくし・たんぽぽ春まつり	深谷たんぽぽ	
4月22日	工賃2万円達成パーティー	深谷たんぽぽ	
6月10日	法人レクリエーション大会	ビッグタートル	
10月8日	深谷市ふれあいスポーツ大会	ビッグタートル	
11月11日	秋の日帰り旅行	新潟県・湯沢	
11月17・18日	秋の一泊旅行	静岡県・伊豆	
12月17日	忘年会	深谷たんぽぽ	
1月4日	新春お楽しみ会	深谷たんぽぽ	
1月10日	誕生日会(1月生まれ)	深谷たんぽぽ	
1月16日	交通安全教室	深谷たんぽぽ	
2月3日	節分・豆まき	深谷たんぽぽ	
2月14日	誕生日会(2月生まれ)	深谷たんぽぽ	
3月14日	誕生日会(3月生まれ)	深谷たんぽぽ	

2. 支援検討会議実施状況

月日	議題	課題	担当
4月8日	第 1 回	作業班編成について・支援計画作成検討	長崎・田沼
4月22日	第 2 回	各利用者様への食事提供について	大澤
5月13日	第 3 回	N様とN家の現況と今後の支援について	堀口
5月26日	第 4 回	生活介護の課題と今後の取り組み	持田
6月3日	第 5 回	健康診断・法人レクリエーションについて	野口
6月24日	第 6 回	H様の現状と今後の支援について	田沼
7月8日	第 7 回	A様の情報確認と夏季の過ごし方について	長崎
7月22日	第 8 回	U様の排泄支援について	大澤
8月12日	第 9 回	U様の対応について	堀口
9月23日	第 10 回	H様の現状と今後の支援について	神沼
10月7日	第 11 回	新入所 Y様のケース情報	田沼
11月24日	第 12 回	入浴のサービスについて、U様について	持田
1月13日	第 13 回	T様の現況と今後の支援について	長崎
2月10日	第 14 回	Y様、K様、T様の現況と今後の支援について	堀口

3. 健康診断・健康相談他

●健康診断・健康相談

内容	医療機関	回数	詳細	備考
生活習慣病健診	メディカルセンター	1	胸部X-P、心電図、尿検査、血圧測定、胸部聴打診	
健康相談	川本メディカルクリニック	1	健診結果を元に健康指導(全員)	
		12	本人希望者、家族依頼者等必要時相談	

●定期検査・測定

内容	回数	詳細	備考
バイタルチェック	12	血圧測定、体重測定、脈拍測定	

4. ボランティア受入状況

ボランティア内容	期間	学校・所属等	人数
つくし・たんぽぽ春まつり支援	4月16日	ふれあい、ひまあり等	44
作業支援	毎木曜日	あじさいの会	78
食事介助	毎日	食事介助ボラ	653
合計			775

5. レクリエーション等活動状況

●クラブ活動状況

活動名	活動状況	年間回数	1回平均参加率
カラオケ	カラオケ	12	20
運動	ボール蹴り、卓球	12	6

平成28年度事業報告(資料編)
深谷たんぽぽ 処遇

●日中レク活動状況

活動名	活動状況	年間回数	1回平均参加率
スポーツ	卓球、風船バレー、ボール運動	39	23
創作	塗り絵、テーブルゲーム、紙芝居、文化作品	51	25
音楽	DVDダンス、フォークダンス、音楽会	40	23
生活訓練	口腔ケア、歯磨き学習、料理	11	17
機能訓練	歩行訓練、立位訓練、ストレッチ、PT訓練	228	6

6. 新規利用者の実習・入所受入状況

期間	学校・所属等	人数	備考
6月27日～7月8日	深谷はばたき特別支援学校	1	産業現場実習
8月24日～9月1日	市内在住	1	入所
10月3日～10月14日	深谷はばたき特別支援学校	1	産業現場実習
10月12日～10月14日	熊谷特別支援学校	1	産業現場実習
10月17日～10月21日	熊谷特別支援学校	1	産業現場実習
10月24日～11月4日	深谷はばたき特別支援学校	1	産業現場実習
11月14日～11月22日	市内在住	1	入所
1月16日～1月20日	深谷はばたき特別支援学校	4	産業現場実習
1月16日～1月20日	熊谷特別支援学校	1	産業現場実習

7. 作業状況

●平均工賃（就労継続B型）

月	作業日数	利用者数	収入	必要経費	工賃支払額	平均工賃
4月	21	25	1,589,310	351,420	264,211	10,568
5月	21	25	1,311,949	254,439	341,797	13,671
6月	22	25	1,411,810	291,357	400,481	16,019
7月	21	24	1,596,180	317,135	368,750	15,364
8月	21	24	1,517,686	298,165	246,969	10,290
9月	22	25	1,580,958	302,835	228,394	9,135
10月	20	24	1,467,189	427,714	282,196	11,758
11月	21	26	1,523,703	348,609	284,655	10,948
12月	22	25	1,346,706	381,759	297,617	11,904
1月	20	25	1,489,125	343,287	272,167	10,886
2月	20	25	1,401,884	447,665	258,787	10,351
3月	22	26	1,317,082	395,065	294,964	11,344
夏期賞与		25			936,999	37,479
冬期賞与		25			792,895	31,715
期末賞与		25			783,427	31,337
合計	253	299	17,553,582	4,159,450	6,054,309	20,248

●平均工賃（生活介護）

月	作業日数	利用者数	収入	必要経費	工賃支払額	平均工賃
4月	21	29			78,963	2,722
5月	21	29			87,391	3,013
6月	22	29			84,675	2,919
7月	21	29			83,784	2,889
8月	21	29			80,506	2,776
9月	22	29			87,407	3,014
10月	20	29			82,131	2,832
11月	21	29			82,506	2,845
12月	22	27			77,524	2,871
1月	20	27			74,262	2,750
2月	20	26			74,115	2,850
3月	22	27			78,370	2,902
夏期賞与		29			354,745	12,232
冬期賞与		29			228,250	7,870
期末賞与		29			517,326	17,838
合計	253	339	-	-	2,071,955	6,111

平成28年度事業報告(資料編)
深谷たんぽぽ 処遇

●班別作業収支

科目	収入	科目	収入
箱折	753,531	食品	1,697,710
プレス	2,677,330	センター	1,331,033
ウエス	475,416	クリーン	7,581,864
木工	1,218,819	ねじ	1,155,307
タイヤ	11,822	その他	482,420
リサイクル	168,330	合計	17,553,582

●販売実施状況

実施日	販売先	販売場所	売上金額
4月16日	つくしたんぽぽ春まつり	深谷たんぽぽ	129,000
4月29～30日	深谷花フェスタ	深谷城址公園	75,090
5月13日	はばたき販売	深谷はばたき特支校	2,500
5月25日	市役所販売	深谷市役所	4,900
5月26日	保護者会販売	深谷たんぽぽ	6,610
6月4日	彩の国セルフまつり	さいたま市鐘塚公園	43,980
6月8日	皆光園販売	皆光園	9,130
7月2日	ふっかちゃんバースデイぱーちい	ビッグタートル	19,410
7月7日	市役所販売	深谷市役所	900
7月8日	はばたき販売	深谷はばたき特支校	3,450
8月5日	市役所販売	深谷市役所	1,700
8月26日	保護者会販売	深谷たんぽぽ	13,930
9月3日	春日園サマーフェスティバル	春日園	39,160
9月7日	深谷市敬老会販売	深谷市市民文化会館	8,190
9月18日	しくね育成園オータムフェア	しくね育成園	14,900
9月24日	皆光園まつり	皆光園	17,300
9月24日	つくし夏まつり	妻沼つくし作業所	14,050
9月25日	ふれあいスポーツ販売	熊谷運動公園	25,900
9月28日	深谷市敬老会販売	深谷市役所	1,100
10月16日	嵐山郷まつり	嵐山郷	8,550
10月29～30日	福祉健康まつり	ビッグタートル	84,270
11月12日	あゆみ会福祉の店	パティオ	38,900
11月19日	ドリーム彩	熊谷特支学	31,950
11月20日	地域就職相談会販売	はにぼんプラザ	14,190
11月22日	県セルフ埼玉りそな本店販売	埼玉りそな本店	60,820
11月25日	保護者会販売	深谷たんぽぽ	7,050
12月14～16日	県セルフ大宮駅販売	大宮駅	66,310
1月13日	はばたき販売	深谷はばたき特支校	3,150
1月29日	県セルフ上尾駅販売	上尾駅	33,460
2月15日	地域就職相談会販売	さくらめいと	24,770
2月26日	深谷市ハーフマラソン大会	ビッグタートル	85,630
3月7日	県セルフ埼玉信用金庫本店販売	埼玉県信用金庫本社	54,900
3月10日	深谷市民ホール販売	深谷市民ホール	5,000
合 計			950,150

●送迎状況

送迎地域・コース	所要時間／1日	走行距離／1日	送迎人数	使用車両	備考
1、深谷市中央部	150	46	19	シビリアン	
2、深谷市西武	140	48	11	ハイエース	
3、深谷市北部	140	40	8	ハイエースリフト	
4、深谷市東部	170	54	8	ハイエースリフト	
5、深谷市北西部	130	55	6	ステップワゴン	
6、JA営農センター	80	55	2	スクラム	
7、深谷はばたき特別支援学校	160	58	5	ハイエース	

平成28年度事業報告(資料編)
深谷たんぽぽ 処遇

8. 利用者現況表

①年齢・性別(生活介護) 単位：名

	男性	女性	合計
60歳以上	1	1	2
50歳以上	2	2	4
40歳以上	1	2	3
30歳以上	6	6	12
20歳以上	2	5	7
20歳未満	0	0	0
合計	12	16	28

平均年齢(生活介護) 単位：歳

年齢	男性	女性	全体
平均年齢	37	37	37
最年長	61	72	
最年少	21	23	

年齢・性別(就労B型) 単位：名

年齢	男性	女性	合計
60歳以上	3	0	3
50歳以上	1	3	4
40歳以上	5	4	9
30歳以上	0	2	2
20歳以上	6	2	8
20歳未満	0	0	0
合計	15	11	26

平均年齢(就労B型) 単位：歳

年齢	男性	女性	全体
平均年齢	41	41	41
最年長	69	56	
最年少	21	21	

②障害支援区分(生活介護)

単位：名

区分	男性	女性	合計
区分6	4	6	10
区分5	5	5	10
区分4	3	3	6
区分3	0	1	1
区分2	0	1	1
区分1	0	0	0
未判定	0	0	0
合計	12	16	28

障害支援区分(就労B)

単位：名

区分	男性	女性	合計
区分6	0	0	0
区分5	2	1	3
区分4	4	1	5
区分3	3	5	8
区分2	1	1	2
区分1	0	0	0
未判定	5	3	8
合計	15	11	26

③身障手帳・療育手帳等の状況(生活介護)

身障手帳 単位：名

等級	男性	女性	合計
1級	3	5	8
2級	5	3	8
3級	0	1	1
4級	0	0	0
5級	0	0	0
6級	0	0	0
合計	8	9	17

療育手帳 単位：名

等級	男性	女性	合計
○A	5	8	13
A	3	4	7
B	1	3	4
C	1	1	2
合計	10	16	26

身障手帳・療育手帳等の状況(就労B)

身障手帳 単位：名

等級	男性	女性	合計
1級	1	1	2
2級	1	1	2
3級	0	0	0
4級	0	1	1
5級	0	0	0
6級	0	0	0
合計	2	3	5

療育手帳 単位：名

等級	男性	女性	合計
○A	0	0	0
A	7	3	10
B	6	5	11
C	1	1	2
合計	14	9	23

平成28年度事業報告(資料編)
深谷たんぽぽ 処遇

④入退所状況

単位：名

サービス	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生活介護	月初在籍者数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28	347
	月途中開始者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月途中終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	月末在籍者数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28	28	346
就労B	月初在籍者数	25	25	25	25	24	25	25	25	25	25	25	26	300
	月途中開始者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	月途中終了者数	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	月末在籍者数	25	25	25	24	24	25	25	25	25	25	26	26	300

⑤利用率

※小数点第2位以下切り捨て

(生活介護/定員25名)

単位：名

月	4	5	6	7	8	9	10
定員	25	25	25	25	25	25	25
在籍人員	29	29	29	29	29	29	29
開所日数	21	22	22	21	21	22	21
必要開所日数	22	23	22	23	23	22	23
利用延人数	506	528	568	539	531	555	533
利用率(%)	92.0	91.8	103.3	93.7	92.3	100.9	92.7
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	25	25	25	25	25	25	
在籍人員	29	29	29	28	28	346	
開所日数	21	22	22	21	22	255	269
必要開所日数	22	23	23	20	23		
利用延人数	525	519	508	472	520	6,304	
利用率(%)	95.5	90.3	88.3	94.4	90.4	93.8	

(就労B型/定員25名)

単位：名

月	4	5	6	7	8	9	10
定員	25	25	25	25	25	25	25
在籍人員	25	25	25	25	24	25	25
開所日数	21	21	22	21	21	22	21
必要開所日数	22	23	22	23	23	22	23
利用延人数	484	491	514	470	450	489	470
利用率(%)	88.0	85.4	93.5	81.7	78.3	88.9	81.7
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	25	25	25	25	25	25	
在籍人員	25	26	25	26	26	302	
開所日数	21	22	22	21	22	255	269
必要開所日数	22	23	23	20	23		
利用延人数	461	507	474	471	537	5,818	
利用率(%)	83.8	88.2	82.4	94.2	93.4	86.6	

平成28年度事業報告(資料編)
妻沼つくし作業所 運営管理

1. 外部研修

月日	研修内容	場所	参加者
5月2日	管理者研修	彩の国すこやかプラザ	泉
5月10・13・20日	リーダー研修	彩の国すこやかプラザ	萩原、戸井田
6月1日	サービス管理責任者等研修	さいたま市民会館	萩原、戸井田
6月17日	障害者コンプライアンス研修	彩の国すこやかプラザ	泉
6月21日	感染症予防研修	彩の国すこやかプラザ	萩原
6月27日	障害のある方のための健康づくり講座	秩父地域振興センター	森田、大塚
7月6日	安全運転管理者講習	さくらメイト	萩原
8月8日	プレゼンテーション研修	彩の国すこやかプラザ	萩原
8月8日	ナレッジマネジメント研修	さいたま市民会館	戸井田
9月5日	ナレッジマネジメント研修	さいたま市民会館	戸井田
9月16日	発達障害者研修	彩の国すこやかプラザ	加藤
9月21日	サービス管理責任者等研修	さいたま市民会館	戸井田
9月30日	発達障害者ステップアップ研修	彩の国すこやかプラザ	泉
10月7日	モチベーション研修	彩の国すこやかプラザ	萩原
1月13日	サービス管理責任者等研修	さいたま市民会館	萩原、戸井田
2月8日	虐待防止・権利擁護研修	彩の国すこやかプラザ	戸井田
2月28日	虐待防止研修	彩の国すこやかプラザ	加藤

2. 施設内研修

月日	研修内容	講師	参加者
11月5日	5S活動研修	上尾アブセックススタッフ	在所職員
12月2日	商品開発会議	上尾アブセックススタッフ	在所職員

3. 会議実施状況

実施日	内 容	参加者
全開所日において	当日の打ち合わせ・申し送り	在所職員
8月3日	サービス検討会議	在所職員
8月19日	サービス検討会議	在所職員
9月7日	サービス検討会議	在所職員
9月16日	サービス検討会議	在所職員
10月7日	サービス検討会議	在所職員
10月25日	サービス検討会議	在所職員
11月25日	サービス検討会議	在所職員
12月5日	サービス検討会議（就労B）	就労B職員
12月5日	サービス検討会議（生活介護）	生活介護職員
12月15日	サービス検討会議（就労B）	就労B職員
1月16日	サービス検討会議（生活介護）	生活介護職員
1月23日	サービス検討会議（就労B）	就労B職員
2月16日	サービス検討会議（就労B）	就労B職員
2月21日	サービス検討会議（生活介護）	生活介護職員
3月14日	サービス検討会議（生活介護）	生活介護職員
3月16日	サービス検討会議（就労B）	就労B職員

4. 研修報告会

実施日	内 容	発表者
6月20日	障害者コンプライアンス研修	泉
6月22日	感染症予防研修	萩原
7月15日	虐待防止研修	戸井田
2月9日	虐待防止・権利擁護研修	戸井田
3月1日	虐待防止研修	加藤

平成28年度事業報告(資料編)
妻沼つくし作業所 運営管理

5. 施設見学等の受入状況

月日	見学者	人数	備 考
4月27日	妻沼西中学校	16	
8月24日	妻沼高校	2	
11月2日	雀幸園	2	
12月21日	グループホームビッグ	2	
合計		22	

6. 学生・教員の実習受入状況

期間	学校・所属等	人数	備 考
11/7～11/11	妻沼高校	2	
合計		2	

7. ヒヤリハット・事故報告状況

①ヒヤリハット

内容	送迎	居室	廊下	食堂	トイレ	浴室	作業棟	屋外	その他	件数
転倒・転落	2							1		3
移乗失敗・衝突										0
服薬										0
配薬ミス										0
食事（誤嚥等）										0
給食（形状等）										0
補装具等不備										0
設備等不備	1								1	2
作業									1	1
事務										0
個人情報取扱									1	1
その他	3								8	11
合計	6	0	0	0	0	0	0	1	11	18

②事故報告

月日	場所	状況	対応
7月4日	妻沼地区	送迎中の追突事故	全員通院しケガなし

8. 防災訓練等実施状況

実施日	訓練名	想定	備考	消防立会
9月29日	消防訓練	昼間	食堂からの火災	無
3月23日	消防訓練	昼間	食堂からの火災	無

平成28年度事業報告(資料編)
妻沼つくし作業所 処遇

1. 年間行事

開催月日	行事名	場所	備考
9月24日	つくし祭り	妻沼つくし作業所	
11月16日	ミュージカル鑑賞	桐生市公民館	
12月17日	大掃除、餅つき大会	妻沼つくし作業所	
12月26日	忘年会	深谷グランドホテル	

2. 支援検討会議実施状況

月日	議題	課題	担当
5月17日	第 30 回	Y.N様支援状況	萩原
7月29日	第 31 回	O.A様支援状況	戸井田
11月22日	第 32 回	A.M様支援状況	戸井田
11月15日	第 33 回	A.T様支援状況	船越
12月19日	第 34 回	A.T様支援状況	石田
12月22日	第 35 回	I.S様支援状況	船越
1月16日	第 36 回	O.A様支援状況	萩原
1月30日	第 37 回	I.N様支援状況	大塚
2月9日	第 38 回	U.M様支援状況	加藤
2月28日	第 39 回	O.K様支援状況	萩原
3月8日	第 40 回	O.H様支援状況	萩原
3月28日	第 41 回	Y.N様支援状況	戸井田

3. 健康診断・健康相談他

●健康診断・健康相談

内容	医療機関	回数	詳細	備考
健康相談	こばやし小児科	12	本人・保護者から必要に応じて健康指導	
生活習慣病検診	深谷メディカル	1	腹部X-P、心電図、尿検査、血圧測定、腹部聴打診	

●定期検査・測定

内容	回数	詳細	備考
バイタルチェック	12	血圧測定、体重測定	

4. ボランティア受入状況

ボランティア内容	期間	学校・所属等	人数
職場体験	6月7日～6月9日	妻沼西中学校	13
音楽レクリエーション	7月11日	音楽ボラ	1
そば打ち体験	12月7日	利庵	1
合計			15

5. レクリエーション等活動状況

●サークル活動状況

活動名	活動状況	年間回数	1回平均参加率
文化サークル	地域イベント参加他	4	10
運動サークル	スポーツ振興	4	8

●日中レク活動状況

活動名	活動状況	年間回数	1回平均参加率
創作	塗り絵、割りばし灯籠他	200	3
音楽	カラオケ・音楽ボラ	44	8
クッキング	ホットケーキ他	24	8
機能訓練	ストレッチ他	200	7

平成28年度事業報告(資料編)
妻沼つくし作業所 処遇

6. 新規利用者の実習・入所受入状況

期間	学校・所属等	人数	備考
6月13日～6月17日	熊谷特別支援学校	1	
6月20日～6月24日	はばたき特別支援学校	1	
6月27日～7月1日	はばたき特別支援学校	1	
7月17日～7月21日	はばたき特別支援学校	1	
7月24日～7月27日	はばたき特別支援学校	1	
8月1日～8月12日	熊谷市内	1	入所
9月5日～9月16日	深谷市内	1	入所
10月17日～10月21日	はばたき特別支援学校	1	
10月24日～10月28日	はばたき特別支援学校	1	
10月31日～11月4日	はばたき特別支援学校	1	
11月21日～11月25日	行田特別支援学校	1	
1月6日～1月11日	熊谷市内	1	入所
1月16日～1月20日	はばたき特別支援学校	4	
1月30日～2月3日	行田特別支援学校	1	

7. 作業状況

●平均工賃(就労B)

月	作業日数	利用者数	収入	必要経費	工賃支払額	平均工賃
4月	23	11	363,231	89,911	98,668	8,969
5月	20	11	224,592	61,282	87,524	7,956
6月	23	11	132,808	31,511	97,258	8,841
7月	21	11	192,798	65,090	90,410	8,219
8月	21	13	324,886	61,319	92,800	7,138
9月	21	14	323,227	91,790	95,094	6,792
10月	20	15	301,186	43,190	106,844	7,122
11月	20	15	332,547	56,983	111,324	7,421
12月	20	15	275,919	61,260	122,317	8,154
1月	20	16	303,968	136,327	117,244	7,327
2月	20	17	201,931	74,134	110,996	6,529
3月	22	17	159,104	72,895	163,819	9,101
夏期賞与		11			230,495	20,954
冬期賞与		15			315,058	21,003
期末賞与		17			764,682	44,981
合計	251	166	3,136,197	845,692	2,604,533	15,689

●平均工賃(生活介護)

月	作業日数	利用者数	収入	必要経費	工賃支払額	平均工賃
4月	21	16			18,662	1,483
5月	20	16			13,961	1,090
6月	23	15			24,343	1,622
7月	21	15			18,036	1,951
8月	21	13			22,325	1,717
9月	22	13			39,182	3,014
10月	21	13			61,447	4,726
11月	22	13			74,819	5,755
12月	20	13			69,378	4,829
1月	20	13			58,026	4,463
2月	20	13			13,894	1,068
3月	22	11			22,388	2,035
夏期賞与		15			22,413	1,494
冬期賞与		15			104,470	6,964
期末賞与		13			43,652	3,358
合計	253	164	-	-	606,996	3,701

平成28年度事業報告(資料編)
妻沼つくし作業所 処遇

●班別作業収支

科目	収入	科目	収入
再生科	1,004,726	もぎ取り科	19,379
農耕科	245,083	ネジ科	558,500
回収科	191,622	その他	879,565
農耕派遣科	237,322	合計	3,136,197

●販売実施状況

実施日	販売先	販売場所	売上金額
4月～9月毎月1日	朔市販売	妻沼町内	35,750
4月16日	たんぼぼ祭り	深谷たんぼぼ	19,510
8月6日	めぬま祭り	妻沼町内	73,000
9月3日	春日園フェスティバル	春日園	10,050
9月24日	つくし祭り	妻沼つくし作業所	134,260
10月29日	熊谷ふれあい広場販売	熊谷ドーム敷地内	31,153
合 計			303,723

●送迎状況

送迎地域・コース	所要時間／1日	走行距離／1日	送迎人数	使用車両	備考
1、妻沼地区	60	44	18	シビリアン	
2、深谷・籠原	60	52	5	ハイエース/ステップワゴン	
3、J A 営農センター	30	26	3	アトレー	

9. 利用者現況表

①年齢・性別(生活介護)

単位：名

	男性	女性	合計
60歳以上	0	0	0
50歳以上	0	1	1
40歳以上	3	2	5
30歳以上	3	0	3
20歳以上	2	0	2
20歳未満	0	0	0
合計	8	3	11

平均年齢(生活介護)

単位：歳

年齢	男性	女性	全体
平均年齢	34	51	42
最年長	49	59	
最年少	22	46	

年齢・性別(就労B型)

単位：名

年齢	男性	女性	合計
60歳以上	0	1	1
50歳以上	3	1	4
40歳以上	2	2	4
30歳以上	4	1	5
20歳以上	2	2	4
20歳未満	0	0	0
合計	11	7	18

平均年齢(就労B型)

単位：歳

年齢	男性	女性	全体
平均年齢	39	37	38
最年長	59	64	
最年少	21	25	

②障害支援区分(生活介護)

単位：名

区分	男性	女性	合計
区分6	1	0	1
区分5	5	0	5
区分4	1	1	2
区分3	1	2	3
区分2	0	0	0
区分1	0	0	0
未判定	0	0	0
合計	8	3	11

障害支援区分(就労B)

単位：名

区分	男性	女性	合計
区分6	0	0	0
区分5	1	1	2
区分4	0	2	2
区分3	1	1	2
区分2	1	1	2
区分1	0	0	0
未判定	8	2	10
合計	11	7	18

平成28年度事業報告(資料編)
妻沼つくし作業所 処遇

③身障手帳・療育手帳等の状況(生活介護)

身障手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
1級	2	0	2
2級	0	0	0
3級	0	0	0
4級	0	0	0
5級	0	0	0
6級	0	0	0
合計	2	0	0

療育手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
○A	5	1	6
A	2	2	4
B	0	0	0
C	0	0	0
合計	7	3	10

身障手帳・療育手帳等の状況(就労B)

身障手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
1級	0	0	0
2級	0	0	0
3級	2	0	2
4級	0	0	0
5級	0	0	0
6級	0	0	0
合計	2	0	2

療育手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
○A	1	0	1
A	3	4	7
B	0	0	0
C	0	0	0
合計	4	4	8

④入退所状況

単位：名

サービス	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生活介護	月初在籍者数	16	16	14	15	15	13	13	13	13	13	13	11	165
	月途中開始者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月途中終了者数	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	5
	月末在籍者数	16	16	15	15	13	13	13	13	13	13	11	11	162
就労B	月初在籍者数	11	11	11	11	11	13	14	15	15	15	15	17	159
	月途中開始者数	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	2	0	7
	月途中終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	月末在籍者数	11	11	11	11	13	14	15	15	15	15	17	17	165

⑤利用率

※小数点第2位以下切り捨て

(生活介護/定員15名)

単位：名

月	4	5	6	7	8	9	10
定員	15	15	15	15	15	15	15
在籍人員	16	16	15	15	13	13	13
開所日数	21	22	20	23	23	22	21
必要開所日数	22	23	22	23	23	22	23
利用延人数	318	289	323	288	243	268	250
利用率(%)	96.4	83.8	97.9	83.5	70.4	81.2	72.5
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	15	15	15	15	15	15	
在籍人員	13	13	13	13	11	164	
開所日数	22	22	20	23	20	23	253
必要開所日数	22	23	23	20	23	23	269
利用延人数	253	229	219	209	211	3,100	
利用率(%)	76.7	66.4	63.5	69.7	61.2	76.8	

平成28年度事業報告(資料編)
妻沼つくし作業所 処遇

(就労B/定員15名)

単位：名

月	4	5	6	7	8	9	10
定員	15	15	15	15	15	15	15
在籍人員	11	11	11	11	13	14	15
開所日数 必要開所日数	21/22	20/23	23/22	21/23	21/23	22/22	21/23
利用延人数	183	190	219	203	233	267	278
利用率(%)	55.5	55.1	66.4	58.8	67.5	80.9	80.6
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	15	15	15	15	15	15	
在籍人員	15	15	16	17	17	166	
開所日数 必要開所日数	22/22	20/23	20/23	20/20	22/23	253	269
利用延人数	270	249	244	255	323	2,914	
利用率(%)	81.8	72.2	70.7	85.0	93.6	72.2	

平成28年度事業報告(資料編)
のぞみ深谷営業所 運営管理

1. 外部研修

月日	研修内容	場所	参加者
5月10日・11日	防火管理者研修	高崎	小林
5月10日・18日	接遇研修	さいたま商工会議所	山口
5月15日・19日	福祉有償運送研修	すこやかプラザ、県活	小林・岡田
6月1日・9日・21日	相談支援従事者初任者研修	すこやかプラザ	山口
6月8日・14日	中堅職員キャリアパス研修	すこやかプラザ	山口
6月13日・17日	中堅職員キャリアパス研修	すこやかプラザ	小林
6月28日	デイケア研修	北深谷病院	大澤・鯨井
7月7日・14日・21日	行動援護従事者研修	大宮福祉カレッジ熊谷校	小林・小沢
7月21～22日	相談支援従事者初任者研修	すこやかプラザ	山口
8月24～26日	自閉症セミナー	グランパープラザ田町	田内
9月12日	発達障害研修	すこやかプラザ	山口
9月18日・23日	福祉有償運送研修	すこやかプラザ、県活	田口・笠原
11月8日	発達障害研修	すこやかプラザ	山口
11月10～11日	サビ管研修(就労)	すこやかプラザ	新井隆
12月2日・9日・16日	同行援護従事者研修	大宮福祉カレッジ高崎校	高橋
1月10日	虐待防止・権利擁護研修(基礎編)	熊谷地方庁舎	小口
2月2～3日・9日・10日	行動援護従事者研修	嵐山郷	田島・高橋・大澤
2月7～8日	精神障害者居宅介護サービス研修	福祉センター青木会館	小沢

2. 会議実施状況

単位:日

内 容	参加者	実施日											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のぞみ連絡会	理事長・正職員	26	24	28	—	—	28	25	22	27	24	28	—
デイ会議	デイスタッフ	14	23	2	7	—	8	6	10	8	12	2	9
ヘルパー会議	ヘルパースタッフ	6	—	—	6・7	—	7	4	15	13	26	18.24	18

3. ヒヤリ・ハット・事故報告状況

事故報告

月日	場所	状況	対応
4月23日	のぞみトイレ内	トイレ内で精神的に不安定になり、職員に噛み付く	保護者に報告
5月9日	デイルーム	課題取組中に、利用者が他の利用者の目の下を怪我させる	医者に連れていき、様子を見る。保護者に報告
9月2日	のぞみ駐車場	駐車場で車両を移動中、ミラーにぶつける	修理をする
11月30日	深谷市永田付近	送迎終了後、信号待ちで後方からの追突	職員は休みを取り通院。車両の傷は軽微。修理せず
3月1日	はばたき駐車場内	デイの迎え時、後方確認不足のため、他事業所の車両に衝突	被害を受けた事業所に謝罪。先方はナンバープレートの修理(のぞみ負担)

4. 防災訓練等実施状況

実施日	訓練名	想定	備考	消防立会
7月20日	避難訓練、通報訓練	デイキッチンより出火		無
3月24日	避難訓練、通報訓練、消火訓練	デイキッチンより出火		有

平成28年度事業報告(資料編)
のぞみ深谷営業所 処遇

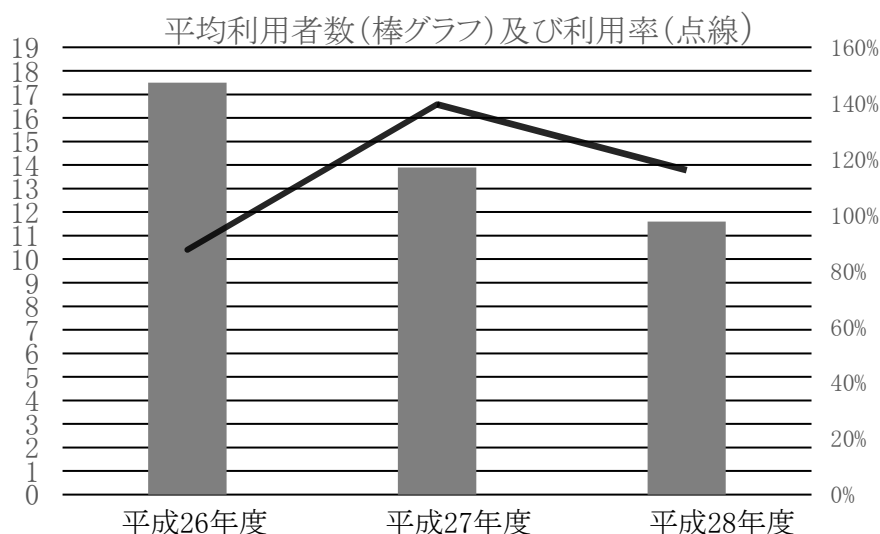
1.放課後等デイ事業

①年間行事

開催月日	行事名	場所	備考
4月16日	たんぼぼ祭り見学	深谷たんぼぼ	利用者12名
5月14日	小学部外出	城之内公園(群馬県)	利用者6名
6月11日	小学部外出	華蔵寺公園(群馬県)	利用者3名
6月18日	高等部外出	カリビアンビーチ(群馬県)	利用者6名
7月9日	小学部外出	群馬こどもの国	利用者5名
7月26日	高等部外出	熊谷駅	利用者3名
7月28日	バーベキュー	のぞみの庭	利用者13名
8月12日	小学部外出	長瀬駅	利用者6名
8月20日	中高等部外出	長瀬駅周辺散策	利用者7名
8月26日	中高等部はる工房外食	はる工房	利用者5名
8月24日	小学部フライングガーデン外食	フライングガーデン深谷店	利用者8名
9月10日	小学部外出	なかさと公園(群馬県)	利用者7名
10月29日	日帰り旅行(芋掘り体験、サイボクハム)	川越市サイボクハム	利用者10名
10月31日	ハロウィンパーティ	のぞみ内	利用者11名
12月24日	クリスマス会	のぞみ内	利用者15名
12月28日	うどん作り体験	藤沢公民館	利用者14名
2月3日	豆まき	のぞみ内	利用者13名
3月25日	アートフェスティバル見学	春日園	利用者13名

②利用状況 ※平成27年10月より定員20名から10名に変更。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員(名)	20	※ 10	10
開所日数(日)	308	306	306
利用延人数(名)	5394	4271	3551
平均利用者数(名)	17.5	13.9	11.6
利用率(%)	88%	140%	116%



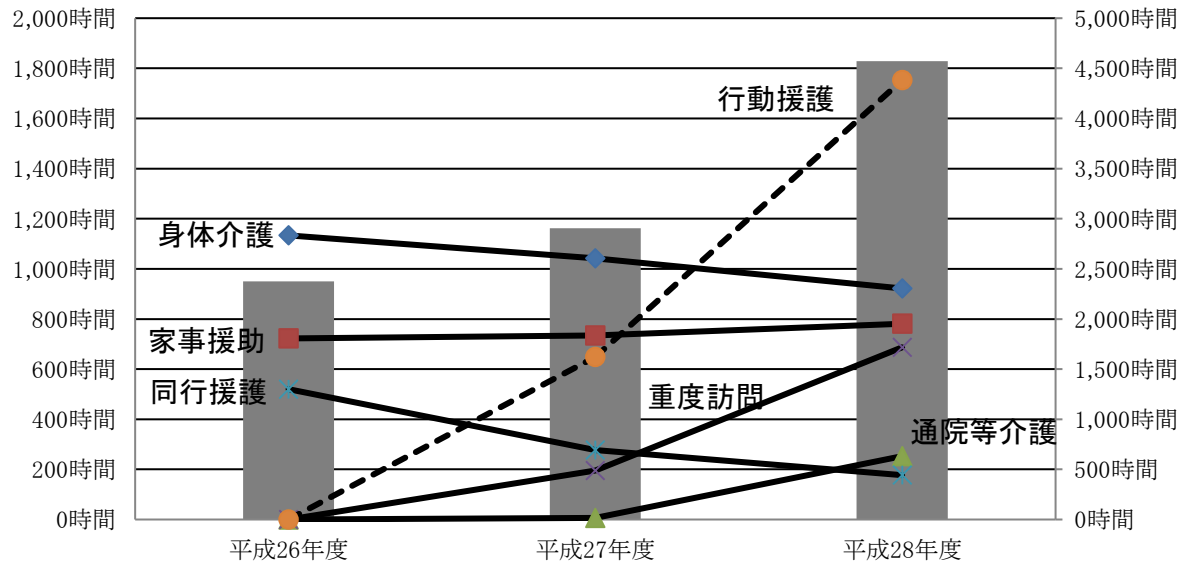
③学年別利用状況

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学部	2,163名	2,054名	1,343名
中学部	2,070名	1,248名	1,405名
高等部	843名	929名	758名
合計	5,394名	4,271名	3,551名

平成28年度事業報告(資料編)
のぞみ深谷営業所 処遇

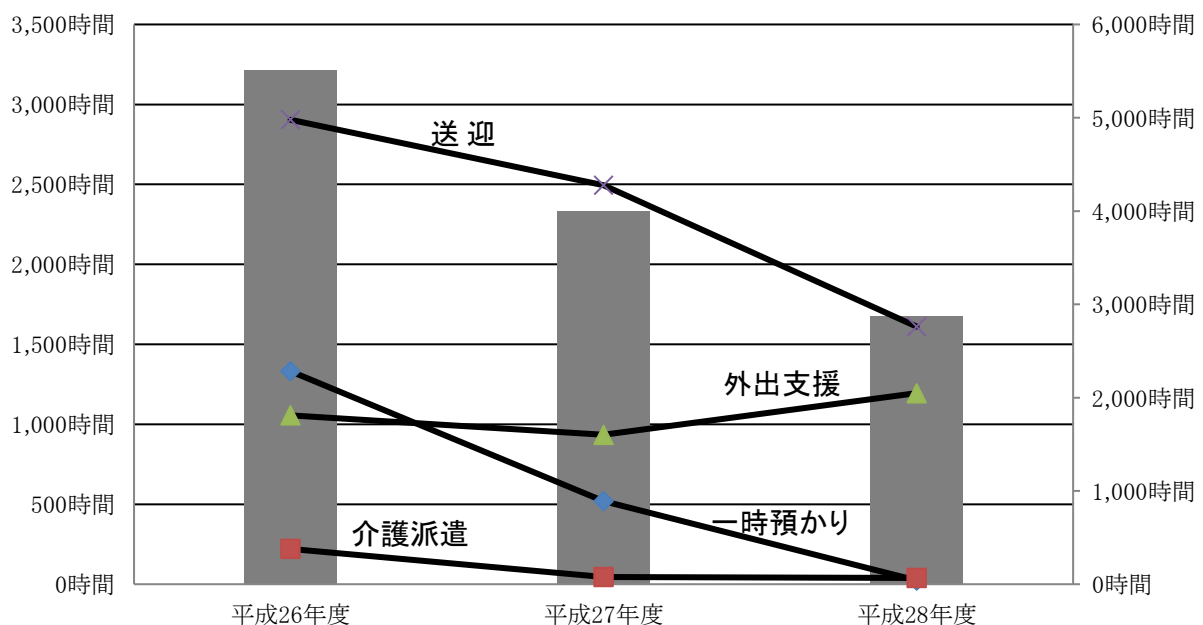
2. 居宅介護

サービス内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
身体介護	1,134時間	1,042時間	922時間	
家事援助	723時間	735時間	781時間	
通院等介助	0時間	7時間	253時間	
重度訪問介護		196時間	687時間	
同行援護	520時間	277時間	177時間	
行動援護		649時間	1,753時間	平成27年10月より
合計	2,376時間	2,904時間	4,572時間	



3. 生活サポート

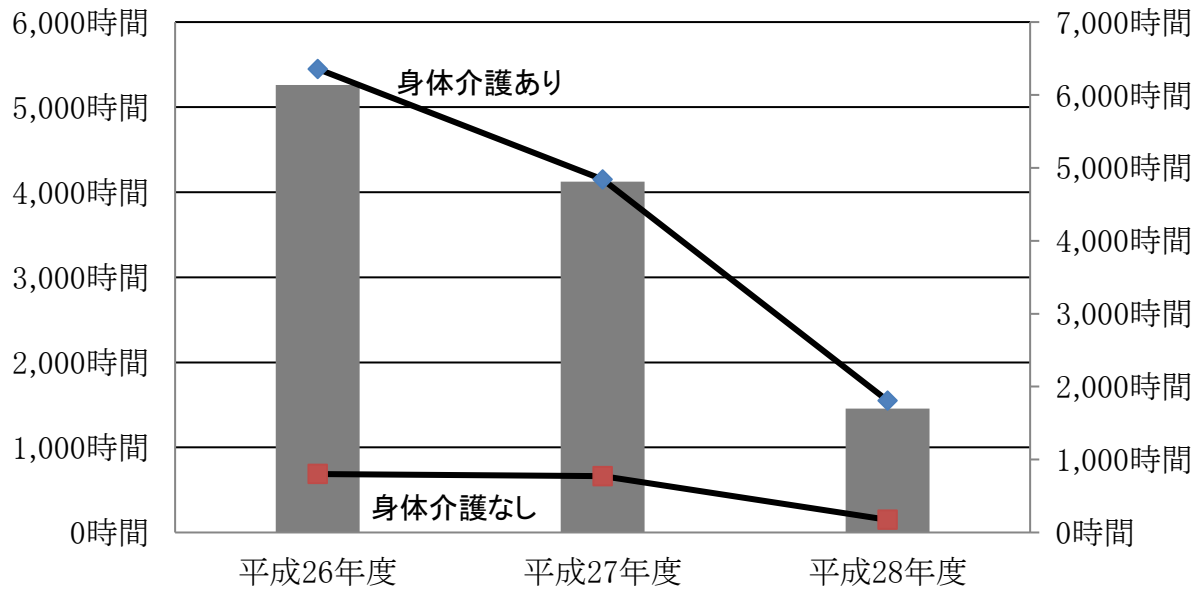
サービス内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
一時預かり	1,332時間	520時間	24時間	
介護派遣	221時間	45時間	39時間	
外出支援	1,055時間	935時間	1,195時間	
送迎	2,904時間	2,496時間	1,611時間	
合計	5,511時間	3,995時間	2,868時間	



平成28年度事業報告(資料編)
のぞみ深谷営業所 処遇

4. 移動支援

サービス内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
身体介護あり	5,449時間	4,150時間	1,550時間	
身体介護なし	687時間	662時間	149時間	
合計	6,136時間	4,812時間	1,699時間	



平成28年度事業報告(資料編)
のぞみの園ホーム 運営管理

1. 外部研修

開催月日	研修内容	場所	参加者
5月31日	集団指導	熊谷地方庁舎	松本
6月1日・9日	サービス管理責任者研修	すこやかプラザ	橋本
6月8日・14日	中堅職員研修	すこやかプラザ	橋本
6月21日	感染症研修	ウエスタ川越	福島
6月22日・29日	中堅職員研修	すこやかプラザ	福島
7月6日	安全管理者講習会	さくらめいと	松本
7月29日	普通救命講習会	のぞみの園1号館	世話人等
12月1日・2日	サービス管理責任者研修	さいたま共済会館	橋本
1月11日・25日	福祉人間力向上研修	埼玉県産連研修センター	橋本
2月16日～17日	防火管理者講習会	深谷消防署	橋本
3月23日	施設長会議	さいたま市民会館おおみや	松本

2. 諸会議実施状況

会議名	回数	参加者
ホーム会議	11	世話人・支援員

3. ヒヤリハット・事故報告状況

①ヒヤリハット(場所別)

内容	送迎	居室	廊下	食堂	トイレ	浴室	作業棟	屋外	その他	件数
転倒										0
移乗失敗・衝突										0
服薬										0
配薬ミス										0
食事(誤嚥等)										0
給食(形状等)										0
補装具等不備										0
設備等不備										0
作業										0
事務										0
個人情報取扱										0
その他									2	2
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

②事故報告書

開催月日	対象	状況	対応
9月4日	職員	使用後の針を刺す	深谷日赤通院(労災)
10月30日	利用者	無断外泊	警察に捜索依頼
2月25日	利用者	外出先での泥酔	保護しホームに戻る

平成28年度事業報告(資料編)
のぞみの園ホーム 運営管理

4.防災訓練等実施状況

実施日	訓練名	想定	内容	消防立会
6月10日	消防訓練 とびたホーム	夜間	総合訓練	無
6月13日	消防訓練 カスガホーム	夜間	総合訓練	無
6月15日	消防訓練 1・2号館	昼間	総合訓練	無
11月16日	消防訓練 とびたホーム	昼間	総合訓練	有
12月7日	消防訓練 1・2号館	夜間	総合訓練	有
12月8日	消防訓練 上柴ホーム	夜間	総合訓練	有
12月15日	消防訓練 カスガホーム	昼間	総合訓練	有

5. 夜勤者勤務状況

ホーム名	夜勤者数	4週間あたりの夜勤回数	備考
KASUGAホーム	2	4	
とびたホーム	2	8	
のぞみの園1号館	2	12	
のぞみの園2号館	2	16	
上柴ホーム	3	28	

平成28年度事業報告(資料編)
のぞみの園ホーム 処遇

1.健康診断・健康相談他

入院状況

期間	年齢	性別	病名	医療機関名
H28年11月15日～12月12日	54	男	多発性脳梗塞	深谷赤十字病院

2. 利用者夜勤対応

内容	ホーム名	出来事	対処
コール対応	のぞみの園1号館	移乗失敗時の補助等・薬付け	随時
コール対応	のぞみの園2号館	移乗失敗時の補助等	随時
コール対応	上柴ホーム	移乗失敗時の補助等	随時

3. 利用者現況表

①年齢・性別

単位：名

年齢	男性	女性	合計
70歳以上	2	1	3
60歳以上	4	1	5
50歳以上	9	5	14
40歳以上	4	5	9
30歳以上	3	1	4
20歳以上	0	3	3
20歳未満	0	0	0
合計	22	16	38

平均年齢

単位：歳

年齢	男性	女性	全体
平均年齢	53	45	50
最年長	71	73	
最年少	30	20	

②障害支援区分

単位：名

区分	男性	女性	合計
区分6	1	0	1
区分5	2	2	4
区分4	6	3	9
区分3	9	8	17
区分2	4	3	7
区分1	0	0	0
未判定	0	0	0
合計	22	16	38

③身障手帳・療育手帳等の状況（共同生活援助）

身障手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
1級	6	6	12
2級	8	2	10
3級	1	0	1
4級	1	1	2
5級	0	0	0
6級	1	0	1
合計	17	9	26

療育手帳

単位：名

等級	男性	女性	合計
○A	1	0	1
A	5	4	9
B	2	6	8
C	1	1	2
合計	9	11	20

平成28年度事業報告(資料編)
のぞみの園ホーム 処遇

④入退所状況

単位：名

事業名	区分	(3)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
のぞみの園ホーム	月初在籍者数	30	29	29	30	30	30	38	38	38	38	38	38	38	414
	月途中開始者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	月途中終了者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月末在籍者数	29	29	30	30	30	30	38	38	38	38	38	38	38	415

※9月：上柴ホーム開所、とびた定員変更により 計8名増加。

⑤利用率

(のぞみの園ホーム 定員30名 9月から38名) 単位：名

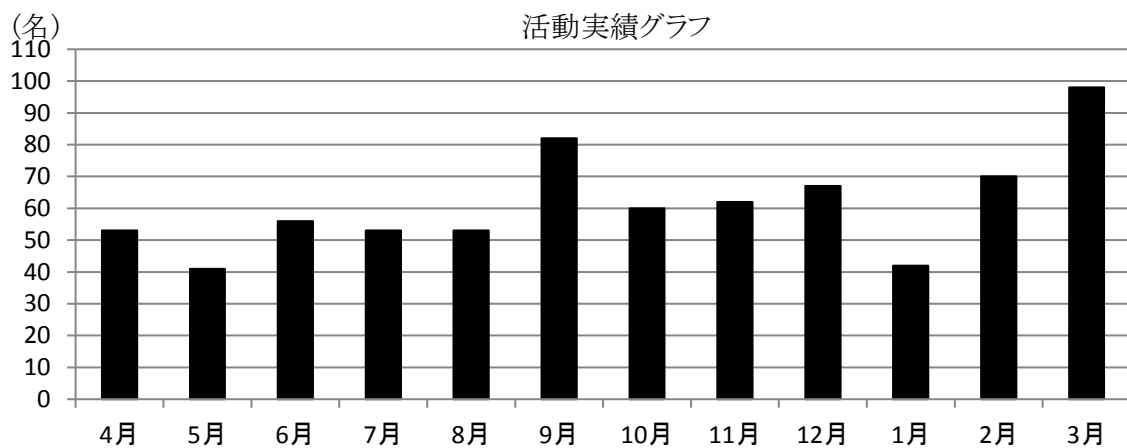
月	4	5	6	7	8	9	10
定員	30	30	30	30	30	38	38
在籍人員	29	30	30	30	30	38	38
開所日数 必要開所日数	30 30	31 31	30 30	31 31	31 31	30 30	31 31
利用延人数	862	861	879	899	864	1034	1083
利用率(%)	95.8	92.6	97.7	96.7	92.9	90.7	91.9
月	11	12	1	2	3	合計・平均	
定員	38	38	38	38	38	34.7	
在籍人員	38	38	38	38	38	34.6	
開所日数 必要開所日数	30 30	31 31	31 31	28 28	31 31	365	365
利用延人数	1050	1049	1050	993	1099	11,723	
利用率(%)	92.1	89.0	89.1	93.3	93.3	92.6	

平成28年度事業報告(資料編)
相談支援センターのぞみ 運営管理

1. 活動実績(述べ人数)

単位:名

実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	11	10	18	15	14	7	18	15	10	13	46	49	226
本計画	9	6	1	5	6	6	1	8	5	4	7	8	66
モニタリング	30	24	34	21	29	63	34	38	46	34	61	79	493
新規(児)	2	1	2	8	0	1	1	0	2	0	1	6	24
本計画(児)	0	0	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	5
モニタリング(児)	1	0	0	4	2	5	6	0	4	3	1	5	31
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
活動日数	22	19	22	22	20	21	23	21	21	20	20	22	253
H28年度合計	53	41	56	53	53	82	60	62	67	42	70	98	737
H27年度合計	65	61	64	47	54	63	43	38	43	36	51	44	609
H28年度1日平均実績	2.4	2.2	2.5	2.4	2.7	3.9	2.6	3.0	3.2	2.1	3.5	4.5	2.9
H27年度1日平均実績	3.1	2.8	3.0	2.1	2.7	3.0	1.9	1.8	2.0	1.8	2.6	2.1	2.4



2. サービス別利用 実人数

単位:名

実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本計画	22	5	3	10	7	6	4	4	5	4	7	9	86
モニタリング	9	5	8	8	11	27	12	13	17	11	10	21	152
本計画(児)	0	0	1	1	3	0	0	1	0	1	0	0	7
モニタリング(児)	1	0	0	1	2	3	2	0	3	1	0	0	13
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	32	10	12	20	23	36	18	18	25	17	17	30	258

3. お断り人数

単位:名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	1	1	8
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
合計	0	0	0	2	1	2	0	0	1	2	1	1	10

※7月、8月ともすぐ他の事業所に決定してしまった。

※9月:他受け入れがあった為。

※12月:月末ぎりぎりに連絡があったのと、情報があやふやだった為。

※1月:3月の受け入れだった為。

※2月:他の受け入れがあった為。

※3月:中旬以降の電話で、受け入れが難しかった為。

date of documentation 5/25/2017

